

本文書は、パークレイズ・ピーエルシー(Barclays PLC)が 2013 年 10 月 30 日に発表した 2013 年度第 3 四半期経営報告書の日本語訳です。その正確な内容については、原文である英文文書をご参照ください。本文書と原文との間で齟齬がある場合には原文が優先されます。なお、原文は、<http://group.barclays.com/about-barclays/investor-relations/results-announcements> よりご覧いただけます。

パークレイズ・ピーエルシー 2013 年度第 3 四半期経営報告書

2013 年 9 月期

目次

2013 年度第 3 四半期経営報告書	ページ
業績ハイライト	3
グループ業績のレビュー	6
事業部門別業績	
• インベストメント・バンク	9
• コーポレート・バンキング	11
• ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント	13
別紙 I: 四半期業績サマリー	14
別紙 II: 業績管理	
• 事業部門別の株主資本利益率	18
• Transform 達成費用	20
• 撤退対象事業部門	21
• 利ざやおよび残高	22
別紙 III: 貸借対照表および資本	25
別紙 IV: 信用リスク	
• 顧客および銀行向けリテールおよびホールセール貸付金	30
• 顧客および銀行向けリテール貸付金(償却原価により評価)	31
• 顧客および銀行向けホールセール貸付金(償却原価により評価)	32
• ユーロ圏諸国に対する当グループのエクスポージャー	33
別紙 V: その他法令・規制関連事項	35
別紙 VI: その他情報	36

業績ハイライト

2013 年第 3 四半期の業績発表をするにあたり、私は、3 つの重要な理由からわれわれのビジネスに対し前向きに思っています。

第 1 の理由は、決算が当グループの根元的な強さと、いくつかの部門で四半期および年初来の業績が好調であったことに示されるとおり、われわれの事業が分散されていることによるメリットを裏付けるものであったことです。特に期中の英国リテール・アンド・ビジネス・バンキング、パークレイカード、コーポレート・バンキング、株式、インベストメント・バンキング各部門の業績は満足のものでした。景気回復の停滞期、漸進期をグループは乗り越えてきており、パークレイズの全ての事業は世界的なマクロ経済の回復の局面の好機を捉える態勢が整っています。

業績の回復は喜ぶべきことですが、われわれは現状に満足しておりません。経営陣は、第 4 四半期、そして 2014 年にかけて、さらに強く推し進めていかなければならないことを承知しています。

第 2 の理由は、2014 年 6 月までに予想 PRA レバレッジ比率を 3%とするという目標を達成するための計画が順調に進んでいるということです。追加的にわれわれは既存の強固な拠点網を維持し、英国経済への貸出を支援し、Transform 目標の達成を図りながら、事業貸借対照表を再評価し、一層のレバレッジ削減に努めています。

第 3 の理由は、大胆かつ早期の「撤退対象事業」ポートフォリオにかかるリスク調整後資産の削減や、2014 年早々にも大きなメリットをもたらすことが期待できる「コスト削減達成」のための本年の投資といった経費管理など、Transform の達成が順調に進んでいるという明確な根拠があることです。

以上、パークレイズの見通しについて、自信を感じる理由をご理解いただけるかと存じます。

グループ最高責任者 アントニー・ジェンキンス

- 2013 年 9 月 30 日までの 9 ヶ月間の調整後税引前利益は 20%減少し、49 億 7,600 万ポンドとなりました。Transform 達成費用 7 億 4,100 万ポンドを計上したこと、2013 年一貫して整理を進めてきた撤退対象事業資産からの収益 3 億 1,700 万ポンドの減少などにより、特に第 3 四半期にインベストメント・バンクの債券・為替およびコモディティ(FICC)事業の収益が減少したことが主因です。
- 法定税引前利益は、当グループ自身の信用度に関連する費用が 1 億 2,500 万ポンド(2012 年:40 億 1,900 万ポンド)に減少したのを受け、28 億 5,100 万ポンド(2012 年:9 億 6,200 万ポンド)に改善しました。
- 調整後収益は本社部門での 6 億 5,700 万ポンドとインベストメント・バンク部門での 5 億 9,700 万ポンドの減収を主因に 4%減少し、215 億 1,600 万ポンドとなりました。
- インベストメント・バンク部門の収益は 7%減少し、85 億 8,400 万ポンドとなりました。株式およびプライム・サービス事業、ならびにインベストメント・バンキング事業の増収により一部相殺されたものの、撤退対象事業の収益が大幅に減少したのを受け、FICC 事業が減収となったためです。
- 信用に関する減損費用は 6%減少し、23 億 5,300 万ポンドとなり、年率換算した貸倒率は 64 ベーシスポイント(2012 年:66 ベーシスポイント)となりました。他の部門での増加により一部相殺されたものの、コーポレート・バンキングとアフリカ・リテール・アンド・ビジネス・バンキング(RBB)部門での改善を主に反映したものです。
- 欧州 RBB およびインベストメント・バンクの事業再編費用を中心とする Transform 達成費用 7 億 4,100 万ポンドの計上を受け、調整後営業費用は 2 億 7,100 万ポンド増加し、141 億 4,400 万ポンドとなりました。収益に対する費用の調整後比率は Transform 達成費用と減収により 66%(2012 年:62%)に上昇しました。インベストメント・バンク部門の収益に対する報酬の比率は 41%でした(2012 年:40%)。
- 調整後平均株主資本利益率は主に Transform 達成費用の計上を反映し、7.1%(2012 年:9.7%)に低下しました。法定平均株主資本利益率は 3.1%に上昇しました(2012 年:マイナス 0.1%)。
- リスク調整後資産は 2013 年 9 月 30 日現在で 3,710 億ポンドと、2013 年 6 月 30 日と比べ 160 億ポンド減少しました。主に撤退対象事業のリスク調整後資産などの事業活動のリスク資産 80 億ポンドの削減と外国為替の変動による 80 億ポンドの減少が要因です。これらの減少は主にインベストメント・バンク部門のもので、リスク調整後資産は 7%減少し、1,570 億ポンドになりました。撤退対象事業のリスク調整後資産が 530 億ポンドと 150 億ポンド減少したのを含め、新たな自己資本規制および適正資金指令(CRD IV)ベースのリスク調整後資産は 2013 年 9 月 30 日現在で推定 4,480 億ポンドと、2013 年 6 月 30 日と比べて 240 億ポンド減少しました。
- コア Tier1 比率はリスク調整後資産の減少を受け 11.3%(2013 年 6 月 30 日:11.1%)に上昇しました。CRD IV 完全施行ベースの普通株式等 Tier1(CET1)比率は推定 8.4% (2013 年 6 月 30 日:8.1%)に上昇し、新株予約権無償割当を調整すると 9.6%でした。
- CRD IV 完全施行ベースのレバレッジ比率は推定 2.5%、新株予約権無償割当を調整すると同 2.9%でした。ブルーデンス(健全性)規制機構(PRA)レバレッジ比率は推定 2.2%、新株予約権無償割当を調整すると同 2.6%でした。
- 余剰流動性は当グループのレバレッジ計画に沿って 1,300 億ポンドに減少しました(2013 年 6 月 30 日:1,380 億ポンド)。余剰流動性は内部および規制上の要件を引き続き上回っています。流動性カバレッジ比率(LCR)は推定 107%でした(2013 年 6 月 30 日:111%)。
- 2013 年初から、英国の世帯と事業に対し、資金調達支援スキーム(Funding for Lending Scheme)の要件に合う新規貸出、650 億ポンドが実行されました。

業績ハイライト

当グループの業績(未監査)¹

	調整後			法定		
	2013年 9月30日に 終了した9カ月間 (百万ポンド)	2012年 9月30日に 終了した9カ月間 (百万ポンド)	増減率(%)	2013年 9月30日に 終了した9カ月間 (百万ポンド)	2012年 9月30日に 終了した9カ月間 (百万ポンド)	増減率(%)
保険金控除後の収益合計	21,516	22,494	(4)	21,391	18,702	14
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(2,353)	(2,515)	(6)	(2,353)	(2,515)	(6)
営業収益純額	19,163	19,979	(4)	19,038	16,187	18
営業費用(Transform 達成費用を除く)	(13,403)	(13,873)	(3)	(15,403)	(15,323)	1
Transform 達成費用	(741)	-		(741)	-	
営業費用	(14,144)	(13,873)	2	(16,144)	(15,323)	5
その他純(費用)/利益純額	(43)	98		(43)	98	
税引前利益	4,976	6,204	(20)	2,851	962	
税引後利益	3,418	4,338	(21)	1,811	545	
株主帰属利益 ²	2,789	3,758	(26)	1,182	(35)	

パフォーマンス指標

平均株主資本利益率	7.1%	9.7%	3.1%	(0.1%)
平均有形株主資本利益率	8.4%	11.5%	3.6%	(0.1%)
平均リスク調整後資産利益率	1.2%	1.5%	0.6%	0.2%
収益に対する費用の比率	66%	62%	75%	82%
営業収益純額に対する報酬の比率	39%	38%	39%	47%
貸倒率(ベース・ポイント)	64	66	64	66
基本的1株当たり利益/(損失)	21.9 ペンス	30.7 ペンス	9.3 ペンス	(0.3 ペンス)
1株当たり配当金	3.0 ペンス	3.0 ペンス	3.0 ペンス	3.0 ペンス

資本および貸借対照表

	新株予約権無償割当調整前		新株予約権無償割当調整後の推定値 ³	
	2013年 9月30日現在	2013年 6月30日現在	2013年 9月30日現在	
コア Tier1 比率	11.3%	11.1%	12.9%	
CRD IV 完全施行ベースの普通株式等 Tier1 比率	8.4%	8.1%	9.6%	
リスク調整後資産	3,710 億ポンド	3,870 億ポンド	3,710 億ポンド	
CRD IV 完全施行ベースのリスク調整後資産	4,480 億ポンド	4,720 億ポンド	4,480 億ポンド	
CRD IV 完全施行ベースのレバレッジ比率	2.5%	2.5%	2.9%	
PRA レバレッジ比率	2.2%	2.2%	2.6%	
グループ余剰流動性	1,300 億ポンド	1,380 億ポンド	1,300 億ポンド	
1株当たり純資産価値	384 ペンス	397 ペンス	343 ペンス	
1株当たり正味有形資産価値	323 ペンス	336 ペンス	295 ペンス	
預貸率	100%	102%	100%	

調整後利益の分析

	2013年 9月30日に 終了した9カ月間	2012年 9月30日に 終了した9カ月間
調整後税引前利益	4,976	6,204
当グループ自身の信用度に関連する利益/(損失)	(125)	(4,019)
ブラックロック社に対する投資に係る利益	-	227
支払保障保険(PPI)に係る補償引当金	(1,350)	(1,000)
金利ヘッジ商品に係る補償引当金	(650)	(450)
法定税引前利益	2,851	962

1 本文中の比較数値は、国際財務報告基準(IFRS)第10号「連結財務諸表」および国際会計基準(IAS)第19号「従業員給付」(2011年改訂)の適用、本社の業績の構成要素の事業部門への再配分ならびに事業部門間のポートフォリオの修正を反映し、修正再表示した数値です。この修正再表示の詳細につきましては、ウェブサイト上の2013年4月16日に発表を参照下さい。http://group.barclays.com/about-barclays/investor-relations/investor-news

2 株主帰属利益には税金および非支配持分帰属利益を控除後の利益が含まれます。

3 新株予約権無償割当調整後の推定ベースの資本指標は2013年10月4日の新規普通株式の発行および現金の受領を加味して作成されています。リスク調整後資産の計算の関係上、ここに提示した情報は新株予約権無償割当により調達した資金の保有に適用するリスク加重を0%と想定したものです。

業績ハイライト

事業部門別税引前利益／(損失)	調整後			法定		
	2013年 9月30日に 終了した9カ月間	2012年 9月30日に 終了した9カ月間	増減率(%)	2013年 9月30日に 終了した9カ月間	2012年 9月30日に 終了した9カ月間	増減率(%)
	(百万ポンド)	(百万ポンド)		(百万ポンド)	(百万ポンド)	
英国リテール・アンド・ビジネス・バンキング(RBB)	983	950	3	323	100	
欧州 RBB	(815)	(229)		(815)	(229)	
アフリカ RBB	344	217	59	344	217	59
パークレイカード	1,172	1,147	2	482	997	(52)
インベストメント・バンク	2,852	3,230	(12)	2,852	3,230	(12)
コーポレート・バンキング	678	399	70	28	(51)	
ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント	54	169	(68)	54	169	(68)
本社およびその他事業	(292)	321		(417)	(3,471)	(88)
税引前利益合計	4,976	6,204	(20)	2,851	962	

Transform 達成費用を除く事業部門別 調整後パフォーマンス指標	税引前利益			平均株主資本 収益に対する 利益率 費用の比率	
	2013年 9月30日に 終了した9カ月間	2012年 9月30日に 終了した9カ月間	増減率(%)	2013年 9月30日に 終了した9カ月間	2012年 9月30日に 終了した9カ月間
	(百万ポンド)	(百万ポンド)		%	%
英国 RBB	1,039	950	9	13.3	62
欧州 RBB	(458)	(229)		(23.6)	122
アフリカ RBB	355	217	64	2.8	69
パークレイカード	1,183	1,147	3	19.6	41
インベストメント・バンク	3,027	3,230	(6)	13.2	63
コーポレート・バンキング	732	399	83	8.3	53
ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント	131	169	(22)	4.9	85
本社およびその他事業	(292)	321		(2.2)	
税引前利益合計	5,717	6,204	(8)	8.4	62

損益計算書

- 2013年9月30日までの9ヵ月間の調整後税引前利益は20%減少し、49億7,600万ポンドとなりました。Transform 達成費用7億4,100万ポンドを計上したことと、2013年に一貫して整理を進めてきた撤退対象事業資産の3億1,700万ポンドの減収などによりインベストメント・バンクの債券、為替およびコモディティ(FICC)事業の収益が減少したことが主因です。
- 法定税引前利益は、当グループ自身の信用度に関連する費用が1億2,500万ポンド(2012年:40億1,900万ポンド)に減少したのを受け、28億5,100万ポンド(2012年:9億6,200万ポンド)に改善しました。
- 調整後平均株主資本利益率は減益を受け7.1%(2012年:9.7%)に低下しました。法定平均株主資本利益率は3.1%(2012年:マイナス0.1%)に改善しました。
- 調整後収益は本社部門6億5,700万ポンドとインベストメント・バンク部門5億9,700万ポンドの減収を主因に4%減少し、215億1,600万ポンドとなりました。
- インベストメント・バンク部門の収益は7%減少し、85億8,400万ポンドとなりました。撤退対象事業の収益が大幅に減少するなどにより FICC 事業の収益が減少したためですが、株式およびプライム・サービス事業、ならびにインベストメント・バンキング事業の増収により一部相殺されました。2013年度第3四半期の収益は21億1,100万ポンドと2012年度第3四半期比で22%減少しました。FICC 事業の取引高が減少しましたが、手数料収入の増加と顧客案件取扱高の拡大を背景に株式およびプライム・サービス事業、ならびにインベストメント・バンキング事業の収益が改善したことで一部相殺されました。
- 利息収入純額合計は、グループの他の事業部門での増加があったものの、本部部門とインベストメント・バンク部門の利息収入純額が少なかったため、3億1,000万ポンド減少し、84億9,300万ポンドとなりました。RBB、パークレイカード、コーポレート・バンキング、ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメントの顧客利息収入純額は77億6,600万ポンド(2012年:73億2,600万ポンド)に増加しました。これは当グループの構造的ヘッジ活動の寄与が8,900万ポンド減少し8億7,600万ポンドとなったことが大きく影響し、純利ざやが8ベース・ポイント低下して177ベース・ポイントになった一方、顧客資産が拡大したためです。
- 信用に関する減損費用は6%減少し、23億5,300万ポンドとなりました。外国為替の変動を一因に欧州およびアフリカ RBB の減損が減少したのを受け、コーポレート・バンキングが改善したことが主因です。ただし、英国 RBB およびパークレイカードにおいて2012年に発生した引当金戻入れが当期はなかったこと、欧州のモーゲージ債権回収状況の悪化など、他の部門の減損の増加により一部相殺されました。減損の全体的な改善に加え、貸付金残高が3%減少したことから、年率換算した貸倒率は64ベース・ポイント(2012年:66ベース・ポイント)に低下しました。
- 調整後営業費用は2012年度上半期に発生した銀行間取引金利の設定に係る2億9,000万ポンドの一過性の制裁金および業績連動賞与の未払額の減少があった一方、Transform 達成費用7億4,100万ポンドを含め、2億7,100万ポンド増加し、141億4,400万ポンドとなりました。
- 収益に対する費用の調整後比率は Transform 達成費用の計上を受け66%(2012年:62%)に上昇しました。インベストメント・バンク部門の収益に対する費用の比率は65%(2012年:63%)に上昇し、収益に対する報酬の比率は41%に上昇しました(2012年:40%)。Transform 達成費用を除いた場合でも、インベストメント・バンクの収益に対する報酬の比率は同水準の40%でした。
- 法定税引前利益の実効税率は、主に現地の税率が高い国における利益への課税と損金不算入費用が響き、36.5%(2012年:43.3%)と、英国の税率23.25%(2012年:24.5%)を上回りました。調整後税引前利益の実効税率は31.3%(2012年:30.1%)でした。

グループの業績のレビュー

貸借対照表およびレバレッジ・エクスポージャー

- 資産合計は、主にデリバティブ金融商品時価、決済残高、リバース・レポ取引およびその他類似の担保付貸付、現金および中央銀行預け金、そして撤退対象事業における減少を反映し、2013年6月30日から2013年9月30日の間に1,280億ポンド減少し、1兆4,050億ポンドとなりました。英ポンドに対する米ドル、ユーロ、南アフリカランドの下落も資産合計減少の一因でした。
- 貸付金合計は、主にインベストメント・バンクの決済残高の減少により、4,860億ポンド(2013年6月30日:5,170億ポンド)に減少しました。
- 負債合計は主にデリバティブ金融負債レポ取引およびその他類似の担保付借入、決済残高を含む顧客口座の減少を受け、2013年6月30日から2013年9月30日で1,260億ポンド減少し、1兆3,470億ポンドとなりました。英ポンドに対する米ドル、ユーロ、南アフリカランドの下落も減少の一因でした。
- CRD IV 完全施行ベースのレバレッジ・エクスポージャーの推定値は決済残高、潜在的な将来のデリバティブ・エクスポージャーの削減、余剰流動性の規模の最適化を図ったことに伴う中央銀行預け金の減少により、1兆4,810億ポンド(2013年6月30日:1兆5,590億ポンド)に減少しました。
- 株主資本合計(非支配持分を含む)は582億ポンド(2013年6月30日:601億ポンド)でした。非支配持分を除いた株主資本合計は16億ポンド減少し、494億ポンドとなりました。これは、当四半期の留保利益による5億ポンドの増加により一部相殺されたものの、英ポンドに対する米ドル、ユーロ、南アフリカランドの下落による為替換算再評価差額12億ポンドの減少、退職給付債務の増加による8億ポンドの減少を反映しています。
- 1株当たりの純資産価額は384ペンス(2013年6月30日:397ペンス)、1株当たりの正味有形資産価額は323ペンス(2013年6月30日:336ペンス)でした。
- 2013年度第3四半期のスペイン、イタリア、ポルトガル、アイルランド、キプロス、ギリシャに対する当グループの貸借対照表上の正味エクスポージャーは6%減少し、539億ポンド(2013年6月30日:572億ポンド)となりました。
- 2013年9月30日現在、支払保障保険(PPI)に係る補償引当金の取り崩しにより、同引当金残高は3億8,700万ポンド減少し12億6,300万ポンド、金利ヘッジ商品に係る補償引当金の取り崩しにより、同引当金残高は5,600万ポンド減少し12億9,300万ポンドとなりました。2013年度第3四半期中の引当金の取り崩しは予想に沿ったものとなり、将来予想される費用の見積額の大きな増減はありません。

資本管理

- コア Tier1 資本は2013年6月30日から10億ポンド減少し、2013年9月30日現在で420億ポンドとなりました。配当金支払いの影響を吸収した後の利益が生み出した資本により一部カバーされたものの、主に外国為替の変動による15億ポンドがあったためです。CRD IV 完全施行ベースの CET1 資本は374億ポンド(2013年6月30日:381億ポンド)でした。
- リスク調整後資産は2013年6月30日と比べ160億ポンド減少し、2013年9月30日現在で3,710億ポンドとなりました。主に撤退対象事業のリスク調整後資産にかかるエクスポージャーの80億ポンドの減少と外国為替の変動による80億ポンドの減少が要因です。この減少は主にインベストメント・バンク部門におけるものであり、同部門のリスク調整後資産は7%減少し、1,570億ポンドとなりました。2013年9月30日現在、当グループの CRD IV ベースの推定リスク調整後資産は2013年6月30日と比べて240億ポンド減少し、4,480億ポンドとなりました。このうち、撤退対象事業のリスク調整後資産は150億ポンド減少し、530億ポンドとなりました。
- これらの結果、コア Tier1 比率は11.3%(2013年6月30日:11.1%)に上昇しました。
- 最終規則が2013年9月30日に適用されたと仮定すると、当グループの CRD IV 完全施行ベースの普通株式等 Tier1 (CET1)比率は推定で約8.4%となります(2013年6月30日:8.1%)。移行ベースの CET1 比率は推定で約10.4%でした(2013年6月30日:10.0%)。
- 同規則が2013年9月30日に適用されたと仮定すると、CRD IV 完全施行ベースのレバレッジ比率は推定2.5%(2013年6月30日:2.5%)でした。2013年6月30日時点で41億ポンドの減額調整と整合的な追加的な調整を CET1 資本に適用したと仮定すると、PRA レバレッジ比率は推定2.2%(2013年6月30日:2.2%)となります。
- 新株予約権無償割当によって資本は58億ポンド増加します。これを適用すると、2013年9月30日現在のコア Tier1 比率は12.9%、CRD IV 完全施行ベースの CET1 比率は推定9.6%、CRD IV 完全施行ベースのレバレッジ比率は推定2.9%、PRA レバレッジ比率は推定2.6%に上昇します。

グループの業績のレビュー

資金調達および流動性¹

- 当グループが設定している流動性リスク選好度のフレームワークの下で余剰流動性の規模を最適化する取り組みに沿って、2013年9月30日現在でのグループ余剰流動性は2013年度第3四半期の間に80億ポンド減少し、1,300億ポンド²となりました。グループ余剰流動性は内部および規制上の要件である水準を引き続き上回っています。2013年1月から9月までの月末時点での余剰流動性は1,300億ポンドから1,570億ポンドで推移しました(2012年通期:1,500億ポンドから1,730億ポンド)。
- 余剰流動性は現金および中央銀行預け金が610億ポンド(2013年6月30日:710億ポンド)³、国債が490億ポンド(2013年6月30日:470億ポンド)⁴、その他の利用可能な流動性が200億ポンド(2013年6月30日:200億ポンド)でした。
- バーゼル委員会が発表した最新基準に基づく流動性カバレッジ比率(LCR)は2013年度第3四半期末において推定107%(2013年6月30日:111%)でした。これは要件100%を満たすのに必要な額を90億ポンド(2013年6月30日:140億ポンド)上回ります⁵。2013年6月30日時点と比べて超過額が減少したのは余剰流動性の規模の最適化を図る当グループの計画に沿ったものです。
- RBB、コーポレート・バンキング、ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメントにおける顧客向け預貸率は94%(2013年6月30日:94%)と横ばいでした。グループ全体の預貸率は2013年9月30日現在で100%(2013年6月30日:102%)に低下しました⁵。
- インベストメント・バンクは主にホールセール市場を通じて事業資金を調達しており、RBB、パークレイカード、コーポレート・バンキング、ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメントが顧客から調達する資金には依存していません。当グループのホールセール資金調達残高合計(レポ取引を除く)は2013年9月30日現在で1,980億ポンド(2013年6月30日:2,170億ポンド)でした。うち、1年未満のうちに満期を迎えるものは850億ポンド(2013年6月30日:930億ポンド)、1カ月以内に満期を迎えるものは250億ポンド(2013年6月30日:300億ポンド)です。2013年度第4四半期中に満期を迎えるターム・ファンディングは合計30億ポンド、2014年に満期を迎えるターム・ファンディングは合計240億ポンドです。

配当

- 2013年の第三回中間配当として1株当たり1.0ペンスを2013年12月13日付でお支払します。これまでの年初からの配当金支払額は1株当たり3.0ペンスになります。

見通し

- 当グループでは事業環境に対し慎重な見方を維持しており、持続的な業績の改善に向けてコスト、資本、レバレッジ、リターンを注視し続けていく方針です。

1 アブサ・グループの流動性リスクは、現地通貨および資金調達要件のために別途管理されています。特段の記述がない限り、本セクションのすべての開示情報はアブサを除外しています。

2 このうち、バーゼルの基準により、1,230億ポンド(2013年6月30日:1,320億ポンド)はLCRとして参加が認められています。

3 現金および中央銀行預け金の95%超(2013年6月30日:95%超)はイングランド銀行、米国連邦準備制度理事会、欧州中央銀行、日本銀行、スイス国立銀行に預けられています。

4 うち85%超(2013年6月30日現在:80%超)は英国、米国、日本、フランス、ドイツ、デンマーク、スイス、オランダの国債です。

5 LCRおよび顧客向け預貸率はアブサを含む連結ベースで算定されています。

事業部門別業績

インベストメント・バンク	2013年	2012年	増減率(%)
	9月30日に 終了した9カ月間 (百万ポンド)	9月30日に 終了した9カ月間 (百万ポンド)	
損益計算書関連の情報			
調整後および法定ベース			
マクロ商品 ¹	2,485	3,224	(23)
クレジット商品 ¹	1,951	2,142	(9)
撤退対象事業資産 ¹	72	389	(81)
債券、為替およびコモディティ	4,508	5,755	(22)
株式およびプライム・サービス	2,176	1,729	26
インベストメント・バンキング	1,611	1,517	6
プリンシパル・インベストメントおよびその他収益	289	180	61
収益合計	8,584	9,181	(7)
信用に関する減損費用およびその他の引当金	(206)	(205)	
営業収益純額	8,378	8,976	(7)
営業費用(Transform 達成費用を除く)	(5,373)	(5,781)	(7)
Transform 達成費用	(175)	-	
営業費用	(5,548)	(5,781)	(4)
その他の収益純額	22	35	(37)
税引前利益	2,852	3,230	(12)
株主帰属利益 ²	1,810	2,090	(13)
パフォーマンス指標			
平均株主資本利益率	12.3%	13.0%	
平均リスク調整後資産利益率	1.5%	1.6%	
収益に対する費用の比率	65%	63%	
収益に対する報酬の比率	41%	40%	
貸倒率(ベース・ポイント)	17	15	
貸借対照表関連の情報			
	2013年	2013年	
	9月30日現在	6月30日現在	
	(億ポンド)	(億ポンド)	
銀行および顧客に対する貸付金(償却原価ベース) ³	1,604	1,866	
顧客預り金 ³	1,018	1,174	
資産合計	9,352	10,438	
リスク調整後資産	1,572	1,688	

2013年度と2012年度の比較

- 収益合計は撤退対象事業資産に関連する3億1,700万ポンドの減少を含め7%減少し、85億8,400万ポンドとなりました。
 - FICC事業の収益は22%減の45億800万ポンドとなりました。
 - マクロ商品およびクレジット商品の収益は中央銀行の量的緩和政策の縮小を巡る不透明感を受け、それぞれ23%減の24億8,500万ポンド、9%減の19億5,100万ポンドとなりました。欧州と米国が特に大きな影響を受けた一方、アジアは為替業務の収益改善の恩恵を受けました。前年度同期は、2012年第1四半期に実施された欧州の流動性供給オペ(LTRO)、欧州中央銀行(ECB)の国債購入プログラム、2012年度第3四半期のベンチマーク金利の低下などの恩恵を受けました。
 - 撤退対象事業資産からの収益は3億1,700万ポンド減少し、7,200万ポンドになりました。これは、2013年を通して撤退事業の資産の処分を加速させたことに加え、前年度同期は米国住宅モーゲージ資産の上昇による利益および米国商業用不動産資産の売却ならびに上昇による利益を計上したことも影響しています。
 - 株式およびプライム・サービス事業の収益は26%増の21億7,600万ポンドとなりました。市場の信頼感の高まりとプライム・サービス事業における顧客の取引高の増加を背景に手数料収入が増加したことを反映しています。
 - 顧客取引の増加と良好な市場環境を背景に株式および債券引受業務の収益が伸びたことから、インベストメント・バンキング事業の収益は6%増の16億1,100万ポンドとなりました。
 - プリンシパル・インベストメントおよびその他収益2億8,900万ポンドには2008年の米国リーマンの買収により譲渡された一部未回収資産の回収可能性の改善により計上した2億5,900万ポンドの公正価値調整が含まれています。

¹ マクロ商品は、金利、為替、コモディティ商品からの収益、クレジット商品は信用、証券化商品からの収益を意味します。インベストメント・バンクの撤退対象事業資産の詳細については22ページをご参照ください。

² 株主帰属利益には税金および非支配持分帰属利益を控除後の利益が含まれます。

³ 2013年9月30日現在の貸付金には顧客向け貸付金1,242億ポンド(決済残高504億ポンドと現金担保347億ポンドを含む)、銀行向け貸付金362億ポンド(決済残高95億ポンドと現金担保143億ポンドを含む)が含まれています。顧客預り金には決済残高に係る502億ポンドおよび現金担保に係る266億ポンドが含まれています。

事業部門別業績

- 信用に関する純減損費用 2 億 600 万ポンド(2012 年:2 億 500 万ポンド)は 2013 年度第 2 四半期の単一銘柄エクスポージャーに対する引当てによるものです。
- 営業費用には事業再編に係る Transform 達成費用 1 億 7,500 万ポンドが含まれるものの 4%減少し、55 億 4,800 万ポンドとなりました。ドッド=フランク法、CRD IV、その他報告に関連する規制変更に対応するための投資など、インフラ改善に関連する費用、2 億 5,700 万ポンドの計上により一部相殺されたものの、継続的なコスト削減の取り組みが営業費用の減少につながりました。2012 年度の営業費用には銀行間取引金利の設定に係る 1 億 9,300 万ポンドの費用が含まれています。
- Transform 達成に必要な費用を含め、収益に対する費用の比率は 2%上昇し、65%となりました。収益に対する報酬の比率は 41%(2012 年:40%)に上昇しました。
- 税引前利益は 12%減少し、28 億 5,200 万ポンドとなりました。

2013 年度第 3 四半期と 2012 年度第 3 四半期の比較

- 収益は撤退対象事業資産に関連する 2 億 4,200 万ポンドの減少を含め、22%減少し、21 億 1,100 万ポンドとなりました。
 - FICC 事業の収益は 44%減の 9 億 4,000 万ポンドとなりました。中央銀行の量的緩和政策の縮小を巡る懸念を背景とする相場下落によりマクロおよびクレジット商品の取引高が減少したため、米国が最も大きな影響を受けました。また、撤退対象事業資産の売却の加速に伴い 1,600 万ポンドの損失(2012 年度第 3 四半期:2 億 2,600 万ポンドの利益)を計上しました。前年同期は米国住宅モーゲージ資産の上昇による利益を計上しました。
 - 株式およびプライム・サービス事業の収益は 23%増の 6 億 4,500 万ポンドとなりました。前年同期と比べて相場が改善し、現物株式および株式デリバティブ業務のパフォーマンスが好調だったためです。
 - インベストメント・バンキング事業の収益は 6%増の 5 億 2,500 万ポンドとなりました。債券引受案件の減少が一部あったものの、金融アドバイザリー業務の手数料収入が改善し、株式引受業務の発行案件が増加したためです。
- 営業費用は 6%減の 16 億 2,800 万ポンドとなりました。ドッド=フランク法、CRD IV などの規制要件に対応するための投資を含むインフラ改善に関連する費用 9,400 万ポンドの計上により、一部相殺されたものの、パフォーマンス・コストが減少したためです。
- 税引前利益は 53%減の 4 億 6,300 万ポンドとなりました。

2013 年度第 3 四半期と 2013 年度第 2 四半期の比較

- 収益は 30%減の 21 億 1,100 万ポンドとなりました。
 - FICC 事業の収益は 32%減の 9 億 4,000 万ポンドとなりました。中央銀行の量的緩和政策の縮小を巡る懸念を背景に市場に不透明感が広がる中、金利、コモディティ、為替の各業務で顧客資金フローが細り、マクロ商品の取引高が減少したことが主因です。
 - 季節要因から業績が減速したため、株式およびプライム・サービス事業の収益は 22%減少し、6 億 4,500 万ポンドとなりました。
 - インベストメント・バンキング事業の収益は 1%減の 5 億 2,500 万ポンドとなりました。金融アドバイザリー業務の取引高の増加により一部相殺されたものの、債券および株式引受業務の収益が減少したためです。
 - プリンシパル・インベストメントおよびその他収益は大幅に減少しました。これは、2013 年度第 2 四半期の収益が 2008 年の米国リーマンの買収により譲渡された一部未回収資産の回収可能性の改善により計上した 2 億 5,900 万ポンドの公正価値調整によって一時的に膨らんでいたためです。
- 信用に関する減損費用の純引当金繰入額は、第 2 四半期に単一銘柄エクスポージャーに対し引当金を計上したため、2,500 万ポンド(2013 年度第 2 四半期:1 億 9,500 万ポンド)に減少しました。
- 営業費用は Transform 達成費用が 4,700 万ポンド減少して 600 万ポンドになったことなどにより、7%減の 16 億 2,800 万ポンド(2013 年度第 2 四半期:17 億 5,000 万ポンド)となりました。
- 税引前利益は 57%減の 4 億 6,300 万ポンドとなりました。
- 資産合計は 1,086 億ポンド減少し、9,352 億ポンドになりました。米ドルおよびユーロが英ポンドに対して下落したことに加え、リバース・レポ取引、決済残高、デリバティブ金融商品の減少を主に反映しています。
- リスク調整後資産は、撤退対象事業のリスク調整後資産の減少、英ポンドの米ドルユーロに対する上昇、ソブリン・エクスポージャーの減少を受け、7%減の 1,572 億ポンドとなりました。CRD IV ベースのリスク調整後資産は、撤退対象事業のリスク調整後資産の 150 億ポンドの減少を含め、8%減の 2,340 億ポンドとなりました。

事業部門別業績

コーポレート・バンキング	2013年	2012年	増減率(%)
	9月30日に 終了した9カ月間 (百万ポンド)	9月30日に 終了した9カ月間 (百万ポンド)	
損益計算書関連の情報			
調整後ベース			
保険金控除後の収益合計	2,351	2,300	2
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(376)	(645)	(42)
営業収益純額	1,975	1,655	19
営業費用(Transform 達成費用を除く)	(1,245)	(1,260)	(1)
Transform 達成費用	(54)	-	
営業費用	(1,299)	(1,260)	3
その他の収益純額	2	4	
調整後税引前利益	678	399	70
調整後株主帰属利益 ¹	454	208	118
調整項目			
金利ヘッジ商品に係る補償引当金	(650)	(450)	
調整後税引前利益/(損失)	28	(51)	
地域別調整後税引前収益/(損失)			
英国	799	633	26
欧州	(217)	(297)	(27)
その他地域	96	63	52
合計	678	399	70

パフォーマンス指標

調整後平均株主資本利益率	7.7%	3.5%
調整後平均リスク調整後資産利益率	1.0%	0.5%
調整後収益に対する費用の比率	55%	55%
平均株主資本利益率	(0.7%)	(2.2%)
平均リスク調整後資産利益率	0.1%	(0.1%)
収益に対する費用の比率	83%	74%
貸倒率(ベース・ポイント)	74	126

貸借対照表関連の情報

	2013年 9月30日現在 (億ポンド)	2013年 6月30日現在 (億ポンド)
銀行および顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	613	627
銀行および顧客に対する貸付金(公正価値ベース)	162	163
顧客預り金	1,054	1,067
資産合計	1,126	1,204
リスク調整後資産	705	731

2013年度と2012年度の比較

- 収益合計は2%増の23億5,100万ポンドとなりました。主に教育・社会的住宅供給・地方自治体ポートフォリオに係る公正価値により評価する項目の収益が4,500万ポンド(2012年:6,100万ポンド)に減少したことと、欧州の撤退対象事業資産および撤退済み事業から発生していた収益が当期には発生しなかったことにより一部相殺されたものの、英国の収益が拡大したことを反映しています。純利ざやは、ほとんどが顧客預り金金利の上昇により打ち消されたものの、顧客負債利ざやが低下したことによりほぼ横ばいの124ベース・ポイント(2012年:126ベース・ポイント)となりました。
- 信用に関する減損費用は英国と欧州における減少を主因に42%減の3億7,600万ポンドとなりました。貸倒率は74ベース・ポイント(2012年:126ベース・ポイント)に改善しました。
 - 英国の減損費用は大企業向け減損費用の減少を受けて9,100万ポンド減少し、1億2,600万ポンドとなりました。
 - 欧州の減損費用は、スペインの不動産および建設業界に対するエクスポージャーを継続的に圧縮した結果、1億6,800万ポンド減少し、2億4,800万ポンドとなりました。
- 調整後営業費用は欧州およびその他地域の事業再編費用に関連するTransform 達成費用5,400万ポンドを計上したため3%増加し、12億9,900万ポンドとなりました。法定営業費用は金利ヘッジ商品に係る補償引当金6億5,000万ポンドの追加繰入れ(2012年:4億5,000万ポンド)を計上したため14%増加し、19億4,900万ポンドとなりました。

¹ 調整後株主帰属利益には税金および非支配持分帰属利益を控除後の利益が含まれます。

事業部門別業績

- 調整後税引前利益は以下の要因により70%増加し、6億7,800万ポンドとなりました。
 - 英国の調整後税引前利益は増収と信用に関する減損費用の減少を受け、26%増の7億9,900万ポンドとなりました。
 - 欧州の税引前損失は27%減少し、2億1,700万ポンドとなりました。Transform 達成費用および一部事業からの撤退に伴う減収により一部相殺されたものの、信用に関する減損費用が減少したことを主に反映しています。
 - その他地域の税引前利益は営業費用の減少により52%増の9,600万ポンドとなりました。
- 法定税引前利益は金利ヘッジ商品に係る補償引当金の繰入れを含め、2,800万ポンドに増加しました(2012年:5,100万ポンドの損失)。

2013年度第3四半期と2013年度第2四半期の比較

- 調整後税引前利益は26%増加し、2億7,600万ポンドとなりました。公正価値により測定する項目の利益が100万ポンド(2013年度第2四半期:1,200万ポンド)に減少したことで一部相殺されたものの、営業費用の減少、英国の収益の増加、英国および欧州の信用に関する減損費用の減少を反映しています。法定税引前利益は2013年度第2四半期には金利ヘッジ商品に係る補償引当金の追加繰入れがあったため、2億7,600万ポンドに増加しました(2013年度第2四半期:4億3,100万ポンドの損失)。
- 顧客に対する貸付金は英国の顧客の資金調達需要の減少と欧州の撤退対象事業資産の縮小により2%減少し、613億ポンドとなりました。顧客預り金は1,054億ポンド(2013年6月30日:1,067億ポンド)と概ね横ばいでした。
- 資産合計は余剰流動性資産の減少を反映し、78億ポンド減少し、1,126億ポンドとなりました。
- リスク調整後資産は4%減少し、705億ポンドとなりました。英ポンドに対するユーロの下落と撤退対象事業のリスク調整後資産の減少を主に反映しています。

事業部門別業績

ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント	2013年 9月30日に 終了した9カ月間 (百万ポンド)	2012年 9月30日に 終了した9カ月間 (百万ポンド)	増減率(%)
損益計算書関連の情報			
調整後および法定ベース			
保険金控除後の収益合計	1,380	1,337	3
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(88)	(25)	
営業収益純額	1,292	1,312	(2)
営業費用(Transform 達成費用を除く)	(1,171)	(1,144)	2
Transform 達成費用	(77)	-	
営業費用	(1,248)	(1,144)	9
その他の収益純額	10	1	
調整後および法定ベース税引前利益/(損失)	54	169	(68)
調整後株主帰属利益 ¹	31	126	(75)

パフォーマンス指標

平均株主資本利益率	1.8%	8.6%
平均リスク調整後資産利益率	0.3%	1.4%
収益に対する費用の比率	90%	86%
貸倒率(ベース・ポイント)	51	16

	2013年 9月30日現在 (億ポンド)	2013年 6月30日現在 (億ポンド)
貸借対照表関連の情報		
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	222	226
顧客預り金	621	628
資産合計	360	365
リスク調整後資産	170	170
顧客資産合計	2,020	2,028

2013年と2012年の比較

- 収益は米州およびアジアに牽引されて3%増の13億8,000万ポンドとなりました。純利ざやは構造的ヘッジによる寄与の低下と顧客負債利ざやの低下を主因に20ベース・ポイント低下し、104ベース・ポイントとなりました。顧客資産利ざやは19ベース・ポイント上昇し、83ベース・ポイントとなりました。
- 信用に関する減損費用は、欧州の旧来からの資産エクスポージャーの悪化による影響を主因に、6,300万ポンド増加し8,800万ポンドとなりました。2013年度第2四半期の減損費用にはスペインの不動産に係る担保付貸出に関連する1,500万ポンドの費用が含まれていました。
- 営業費用はTransform 達成費用7,700万ポンドおよび2013年度第2四半期の顧客補償引当金繰入れ2,200万ポンドを主因に9%増加し、12億4,800万ポンドとなりました。
- 税引前利益はTransform 達成費用、顧客補償引当金の繰入れ、減損費用の増加を主に反映して68%減少し、5,400万ポンドとなりました。

2013年度第3四半期と2013年度第2四半期の比較

- 税引前利益は2,000万ポンド増加し、700万ポンドとなりました(2013年度第2四半期:1,300万ポンドの損失)。Transform 達成費用が1,100万ポンドから4,400万ポンドになったことにより一部相殺されたものの、顧客補償引当金繰入れが発生しなかったことを主に反映しています。
- 顧客に対する貸付金は222億ポンド、顧客預り金は621億ポンドでほぼ横ばいとなりました。富裕層向け事業が増加を牽引しましたが、外国為替の変動により相殺されました。
- 資産合計は360億ポンドでほぼ横ばい(2013年度第2四半期:365億ポンド)、リスク調整後資産も170億ポンドで横ばいでした。
- 顧客資産は2,020億ポンド(2013年度第2四半期:2,028億ポンド)でほぼ横ばいでした。

¹ 調整後および法定ベースの株主帰属利益には税金および非支配持分帰属利益を控除後の利益が含まれます。

別紙 I: 四半期業績サマリー

四半期業績	2013 年度 第 3 四半期 (百万ポンド)	2013 年度 第 2 四半期 (百万ポンド)	2013 年度 第 1 四半期 (百万ポンド)	2012 年度 第 4 四半期 (百万ポンド)	2012 年度 第 3 四半期 (百万ポンド)	2012 年度 第 2 四半期 (百万ポンド)	2012 年度 第 1 四半期 (百万ポンド)	2011 年度 第 4 四半期 (百万ポンド)
調整後ベース								
保険金控除後の収益合計	6,445	7,337	7,734	6,867	7,002	7,384	8,108	6,213
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(722)	(925)	(706)	(825)	(805)	(926)	(784)	(951)
営業収益純額	5,723	6,412	7,028	6,042	6,197	6,458	7,324	5,262
営業費用 (Transform 達成費用および英国銀行税を除く)	(4,262)	(4,359)	(4,782)	(4,345)	(4,353)	(4,555)	(4,965)	(4,441)
Transform 達成費用	(101)	(126)	(514)	-	-	-	-	-
英国銀行税	-	-	-	(345)	-	-	-	(325)
営業費用	(4,363)	(4,485)	(5,296)	(4,690)	(4,353)	(4,555)	(4,965)	(4,766)
その他の収益純額	25	(122)	54	43	21	41	36	5
調整後税引前利益	1,385	1,805	1,786	1,395	1,865	1,944	2,395	501
調整項目								
当グループの信用度に関連する(損失)/利益	(211)	337	(251)	(560)	(1,074)	(325)	(2,620)	(263)
債務買戻しに係る利益	-	-	-	-	-	-	-	1,130
ブラックロック社に対する投資の売却益	-	-	-	-	-	227	-	-
支払保証保険 (PPI) に係る補償引当金	-	(1,350)	-	(600)	(700)	-	(300)	-
金利ヘッジ商品に係る補償引当金	-	(650)	-	(400)	-	(450)	-	-
のれんの減損	-	-	-	-	-	-	-	(550)
買収および売却に係る損失	-	-	-	-	-	-	-	(32)
法定税引前利益/(損失)	1,174	142	1,535	(165)	91	1,396	(525)	786
法定税引後利益/(損失)	728	39	1,044	(364)	(13)	943	(385)	581
以下に帰属するもの:								
親会社の株主	511	(168)	839	(589)	(183)	746	(598)	335
非支配持分	217	207	205	225	170	197	213	246
調整後基本的 1 株当たり利益(ペンス)	5.7	8.1	8.1	7.2	8.3	9.2	13.2	1.0
収益に対する費用の調整後比率	68%	61%	68%	68%	62%	62%	61%	77%
基本的 1 株当たり利益/(損失)(ペンス)	4.0	(1.4)	6.7	(4.8)	(1.5)	6.1	(4.9)	2.8
収益に対する費用の比率	70%	85%	71%	90%	85%	69%	96%	75%
事業部門別調整後税引前利益/(損失)								
英国 RBB	351	333	299	275	358	360	232	162
欧州 RBB	(106)	(247)	(462)	(114)	(81)	(76)	(72)	(176)
アフリカ RBB	132	131	81	105	34	51	132	231
パークレイカード	397	412	363	335	396	404	347	261
インベストメント・バンク	463	1,074	1,315	760	988	1,060	1,182	(32)
コーポレート・バンキング	276	219	183	61	88	108	203	(10)
ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント	7	(13)	60	105	70	49	50	43
本社およびその他事業	(135)	(104)	(53)	(132)	12	(12)	321	22
税引前利益合計	1,385	1,805	1,786	1,395	1,865	1,944	2,395	501

別紙 I: 四半期業績サマリー

	2013 年度 第 3 四半期 (百万ポンド)	2013 年度 第 2 四半期 (百万ポンド)	2013 年度 第 1 四半期 (百万ポンド)	2012 年度 第 4 四半期 (百万ポンド)	2012 年度 第 3 四半期 (百万ポンド)	2012 年度 第 2 四半期 (百万ポンド)	2012 年度 第 1 四半期 (百万ポンド)	2011 年度 第 4 四半期 (百万ポンド)
英国リテール・アンド・ビジネス・バンキング								
調整後ベース								
保険金控除後の収益合計	1,172	1,135	1,067	1,077	1,123	1,118	1,066	1,129
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(81)	(89)	(89)	(71)	(76)	(46)	(76)	(156)
営業収益純額	1,091	1,046	978	1,006	1,047	1,072	990	973
営業費用 (Transform 達成費用および英国銀行税を除く)	(710)	(689)	(704)	(718)	(689)	(713)	(757)	(790)
Transform 達成費用	(29)	(27)	-	-	-	-	-	-
英国銀行税	-	-	-	(17)	-	-	-	(22)
営業費用	(739)	(716)	(704)	(735)	(689)	(713)	(757)	(812)
その他の収益/(費用)純額	(1)	3	25	4	-	1	(1)	1
調整後税引前利益	351	333	299	275	358	360	232	162
調整項目								
PPI に係る補償引当金	-	(660)	-	(330)	(550)	-	(300)	-
法定税引前利益/(損失)	351	(327)	299	(55)	(192)	360	(68)	162
欧州リテール・アンド・ビジネス・バンキング								
調整後ベース								
保険金控除後の収益合計	160	176	176	161	168	191	188	198
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(67)	(72)	(70)	(74)	(58)	(71)	(54)	(65)
営業収益純額	93	104	106	87	110	120	134	133
営業費用 (Transform 達成費用および英国銀行税を除く)	(203)	(207)	(215)	(185)	(193)	(200)	(209)	(290)
Transform 達成費用	(1)	-	(356)	-	-	-	-	-
英国銀行税	-	-	-	(20)	-	-	-	(21)
営業費用	(204)	(207)	(571)	(205)	(193)	(200)	(209)	(311)
その他の収益純額	5	(144)	3	4	2	4	3	2
調整後税引前(損失)/利益	(106)	(247)	(462)	(114)	(81)	(76)	(72)	(176)
調整項目								
のれんの減損	-	-	-	-	-	-	-	(427)
法定税引前(損失)/利益	(106)	(247)	(462)	(114)	(81)	(76)	(72)	(603)
アフリカ・リテール・アンド・ビジネス・バンキング								
調整後および法定ベース								
保険金控除後の収益合計	643	684	668	721	714	729	764	806
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(57)	(94)	(114)	(142)	(176)	(208)	(106)	(86)
営業収益純額	586	590	554	579	538	521	658	720
営業費用 (Transform 達成費用および英国銀行税を除く)	(454)	(452)	(474)	(455)	(506)	(471)	(528)	(468)
Transform 達成費用	(2)	(9)	-	-	-	-	-	-
英国銀行税	-	-	-	(24)	-	-	-	(23)
営業費用	(456)	(461)	(474)	(479)	(506)	(471)	(528)	(491)
その他の収益純額	2	2	1	5	2	1	2	2
税引前利益	132	131	81	105	34	51	132	231

別紙 I: 四半期業績サマリー

	2013 年度 第 3 四半期 (百万ポンド)	2013 年度 第 2 四半期 (百万ポンド)	2013 年度 第 1 四半期 (百万ポンド)	2012 年度 第 4 四半期 (百万ポンド)	2012 年度 第 3 四半期 (百万ポンド)	2012 年度 第 2 四半期 (百万ポンド)	2012 年度 第 1 四半期 (百万ポンド)	2011 年度 第 4 四半期 (百万ポンド)
パークレイカード								
調整後ベース								
保険金控除後の収益合計	1,223	1,190	1,153	1,140	1,092	1,079	1,033	1,037
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(334)	(313)	(303)	(286)	(271)	(242)	(250)	(287)
営業収益純額	889	877	850	854	821	837	783	750
営業費用 (Transform 達成費用および英国銀行税を除く)	(498)	(467)	(496)	(508)	(432)	(441)	(445)	(478)
Transform 達成費用	(6)	(5)	-	-	-	-	-	-
英国銀行税	-	-	-	(16)	-	-	-	(16)
営業費用	(504)	(472)	(496)	(524)	(432)	(441)	(445)	(494)
その他の収益純額	12	7	9	5	7	8	9	5
調整後税引前利益	397	412	363	335	396	404	347	261
調整項目								
PPI に係る補償引当金	-	(690)	-	(270)	(150)	-	-	-
法定税引前(損失)/利益	397	(278)	363	65	246	404	347	261
インベストメント・バンク								
調整後および法定ベース								
マクロ商品	472	900	1,113	800	748	1,040	1,436	563
クレジット商品	484	508	959	505	701	665	776	490
撤退対象事業資産	(16)	(30)	118	189	226	56	107	(120)
債券、為替およびコモディティ	940	1,378	2,190	1,494	1,675	1,761	2,319	933
株式およびプライム・サービス	645	825	706	454	523	615	591	300
インベストメント・バンキング	525	528	558	620	493	509	515	518
プリンシパル・インベストメントおよびその他収益	1	279	9	26	30	139	11	36
収益合計	2,111	3,010	3,463	2,594	2,721	3,024	3,436	1,787
信用に関する減損費用およびその他の引当金 (繰入額)/戻入額	(25)	(195)	14	1	(3)	(121)	(81)	(89)
営業収益純額	2,086	2,815	3,477	2,595	2,718	2,903	3,355	1,698
営業費用 (英国銀行税および Transform 達成費用を除く)	(1,622)	(1,697)	(2,054)	(1,644)	(1,737)	(1,849)	(2,195)	(1,527)
Transform 達成費用	(6)	(53)	(116)	-	-	-	-	-
英国銀行税	-	-	-	(206)	-	-	-	(199)
営業費用	(1,628)	(1,750)	(2,170)	(1,850)	(1,737)	(1,849)	(2,195)	(1,726)
その他の収益/(費用)純額	5	9	8	15	7	6	22	(4)
税引前利益/(損失)	463	1,074	1,315	760	988	1,060	1,182	(32)
コーポレート・バンキング								
調整後ベース								
保険金控除後の収益合計	799	780	772	746	717	734	849	753
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(118)	(128)	(130)	(240)	(214)	(223)	(208)	(252)
営業収益純額	681	652	642	506	503	511	641	501
営業費用 (Transform 達成費用および英国銀行税を除く)	(393)	(430)	(422)	(412)	(421)	(402)	(437)	(469)
Transform 達成費用	(13)	(4)	(37)	-	-	-	-	-
英国銀行税	-	-	-	(39)	-	-	-	(43)
営業費用	(406)	(434)	(459)	(451)	(421)	(402)	(437)	(512)
その他の収益/(費用)純額	1	1	-	6	6	(1)	(1)	1
調整後税引前利益/(損失)	276	219	183	61	88	108	203	(10)
調整項目								
のれんの減損	-	-	-	-	-	-	-	(123)
金利ヘッジ商品に係る補償引当金	-	(650)	-	(400)	-	(450)	-	-
売却損	-	-	-	-	-	-	-	(9)
法定税引前利益/(損失)	276	(431)	183	(339)	88	(342)	203	(142)

別紙 I: 四半期業績サマリー

	2013 年度 第 3 四半期 (百万ポンド)	2013 年度 第 2 四半期 (百万ポンド)	2013 年度 第 1 四半期 (百万ポンド)	2012 年度 第 4 四半期 (百万ポンド)	2012 年度 第 3 四半期 (百万ポンド)	2012 年度 第 2 四半期 (百万ポンド)	2012 年度 第 1 四半期 (百万ポンド)	2011 年度 第 4 四半期 (百万ポンド)
ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント								
調整後および法定ベース								
保険金控除後の収益合計	449	462	469	483	443	442	452	453
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(39)	(35)	(14)	(13)	(6)	(12)	(7)	(10)
営業収益純額	410	427	455	470	437	430	445	443
営業費用 (Transform 達成費用および英国銀行税を除く)	(361)	(410)	(400)	(361)	(369)	(380)	(395)	(398)
Transform 達成費用	(44)	(33)	-	-	-	-	-	-
英国銀行税	-	-	-	(4)	-	-	-	(1)
営業費用	(405)	(443)	(400)	(365)	(369)	(380)	(395)	(399)
その他の収益／(費用)純額	2	3	5	-	2	(1)	-	(1)
税引前利益／(損失)	7	(13)	60	105	70	49	50	43
本社およびその他事業								
調整後ベース								
保険金控除後の(費用)／収益合計	(112)	(100)	(34)	(55)	24	68	319	49
信用に関する減損(費用)／房入およびその他の引当金繰入額	(1)	1	-	-	(1)	(3)	(2)	(6)
営業(費用)／収益純額	(113)	(99)	(34)	(55)	23	65	317	43
営業費用 (Transform 達成費用および英国銀行税を除く)	(21)	(7)	(17)	(61)	(6)	(99)	1	(22)
Transform 達成費用	-	5	(5)	-	-	-	-	-
英国銀行税	-	-	-	(19)	-	-	-	-
営業費用	(21)	(2)	(22)	(80)	(6)	(99)	1	(22)
その他の(費用)／収益純額	(1)	(3)	3	3	(5)	23	2	-
調整後税引前(損失)／利益	(135)	(104)	(53)	(132)	12	(11)	320	21
調整項目								
当グループ自身の信用度に関連する(費用)／利益	(211)	337	(251)	(560)	(1,074)	(325)	(2,620)	(263)
ブラックロック社に対する投資の売却益	-	-	-	-	-	227	-	-
債務買戻しに係る利益	-	-	-	-	-	-	-	1,130
買収および売却に係る損失	-	-	-	-	-	-	-	(23)
法定税引前(損失)／利益	(346)	233	(304)	(692)	(1,062)	(109)	(2,300)	865

別紙 II: 業績管理

事業部門別の株主資本利益率

平均株主資本利益率および平均有形株主資本利益率は、当期の税引後利益と非支配持分帰属利益の合計額を年換算したものを、平均割当株主資本または平均割当有形株主資本で適宜除した形で算出されます。平均割当株主資本は、当グループが資本計画の目的で使用する仮定を反映し、のれんおよび無形資産を含む資本控除を調整した後、各事業部門の平均リスク調整後資産の 10.5%として算出されます。2013 年 9 月 30 日現在のコア Tier1 資本比率 11.3%を反映して、現在その水準を上回っている部分の資本は本社およびその他事業に割り当てられます。平均割当有形株主資本も同様の手法に基づいて算出されますが、のれんおよび無形資産は除外されます。

	調整後		法定	
	2013 年 9 月 30 日に 終了した 9 カ月間	2012 年 9 月 30 日に 終了した 9 カ月間	2013 年 9 月 30 日に 終了した 9 カ月間	2012 年 9 月 30 日に 終了した 9 カ月間
平均株主資本利益率	%	%	%	%
英国 RBB	12.6	13.0	4.0	0.8
欧州 RBB	(39.2)	(12.2)	(39.2)	(12.2)
アフリカ RBB	2.4	(0.0)	2.4	(0.0)
パークレイカード	19.4	20.8	6.7	17.7
インベストメント・バンク	12.3	13.0	12.3	13.0
コーポレート・バンキング	7.7	3.5	(0.7)	(2.2)
ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント	1.8	8.6	1.8	8.6
本社およびその他事業を除くグループ	9.1	10.2	4.8	7.2
本社およびその他事業の影響	(2.0)	(0.5)	(1.7)	(7.3)
合計	7.1	9.7	3.1	(0.1)

	調整後		法定	
	2013 年 9 月 30 日に 終了した 9 カ月間	2012 年 9 月 30 日に 終了した 9 カ月間	2013 年 9 月 30 日に 終了した 9 カ月間	2012 年 9 月 30 日に 終了した 9 カ月間
平均有形株主資本利益率	%	%	%	%
英国 RBB	22.0	24.4	7.0	1.6
欧州 RBB	(43.0)	(13.3)	(43.0)	(13.3)
アフリカ RBB ¹	8.7	4.4	8.7	4.4
パークレイカード	25.9	28.3	8.9	24.1
インベストメント・バンク	12.8	13.5	12.8	13.5
コーポレート・バンキング	8.1	3.7	(0.7)	(2.3)
ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント	2.4	12.0	2.4	12.0
本社およびその他事業を除くグループ	10.9	12.0	6.0	8.5
本社およびその他事業の影響	(2.5)	(0.5)	(2.4)	(8.6)
合計	8.4	11.5	3.6	(0.1)

¹ アフリカ RBB の平均有形株主資本利益率はアブサ・グループの非支配持分に関連した額を含めて算出されています。

別紙 II: 業績管理

	調整後		法定	
	2013年 9月30日に 終了した9カ月間 (百万ポンド)	2012年 9月30日に 終了した9カ月間 (百万ポンド)	2013年 9月30日に 終了した9カ月間 (百万ポンド)	2012年 9月30日に 終了した9カ月間 (百万ポンド)
親会社株主に帰属する利益				
英国 RBB	751	686	238	44
欧州 RBB	(629)	(198)	(629)	(198)
アフリカ RBB	42	(1)	42	(1)
パークレイカード	791	763	272	650
インベストメント・バンク	1,810	2,090	1,810	2,090
コーポレート・バンキング	454	208	(40)	(132)
ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント	31	126	31	126
本社およびその他事業 ¹	(461)	84	(542)	(2,614)
合計	2,789	3,758	1,182	(35)
	平均株主資本 ²		平均有形株主資本 ²	
	2013年 9月30日に 終了した9カ月間 (百万ポンド)	2012年 9月30日に 終了した9カ月間 (百万ポンド)	2013年 9月30日に 終了した9カ月間 (百万ポンド)	2012年 9月30日に 終了した9カ月間 (百万ポンド)
英国 RBB	7,932	7,034	4,545	3,740
欧州 RBB	2,142	2,170	1,952	1,986
アフリカ RBB	2,347	2,764	1,073	1,311
パークレイカード	5,447	4,883	4,072	3,596
インベストメント・バンク	19,551	21,363	18,856	20,652
コーポレート・バンキング	7,881	7,889	7,513	7,515
ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント	2,303	1,943	1,740	1,404
本社およびその他事業 ¹	3,926	4,345	3,910	4,344
合計²	51,529	52,391	43,661	44,548

¹ 本社およびその他事業のリスク調整後資産および資本控除を含み、平均株主資本および平均有形株主資本の残高を加えたものです。

² 調整後パフォーマンス指標の算出に際して、当グループの平均株主資本および平均有形株主資本は利益剰余金に対する当グループ自身の信用度の累積影響額を除いています。

Transform 達成費用

- 当グループは 2013 年 2 月 12 日、営業費用純額を 2015 年までに 17 億ポンド削減することを目標とする戦略的コスト管理プログラムの開始を発表しました。同プログラムは規模の適正化と技術化およびイノベーションへの取り組みを通じて実行・管理されています。規模の適正化は現行のコスト基盤を収益性の高い成長の源泉となる事業に見合うものに再構築することに重点を置いています。技術化およびイノベーションへの取り組みでは、今後の営業費用の削減とお客様への提案力の向上を図るためのテクノロジーや新しい業務の運営方法への投資を行います。
- 2013 年 1 月から 9 月までの 9 カ月間の Transform 達成費用合計は 7 億 4,100 万ポンドで、87%が事業再編のための主要施策に関連したものでした。事業再編のための主要施策のコストの多くは余剰人員の削減に伴うもので、これは欧州 RBB、アジアおよび欧州のインベストメント・バンクの事業規模の適正化を最優先課題と位置付けていることを反映したものです。

2013 年 9 月 30 日に終了した 9 カ月間

事業部門別 Transform 達成費用	2013 年 9 月 30 日に終了した 9 カ月間		Transform 達成費用合計 (百万ポンド)
	事業再編のための 主要な施策 (百万ポンド)	その他 Transform 費用 (百万ポンド)	
英国 RBB	(16)	(40)	(56)
欧州 RBB	(357)	-	(357)
アフリカ RBB	-	(11)	(11)
パークレイカード	-	(11)	(11)
インベストメント・バンク	(170)	(5)	(175)
コーポレート・バンキング	(48)	(6)	(54)
ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント	(52)	(25)	(77)
Transform 達成費用合計	(643)	(98)	(741)

撤退対象事業部門

- 当グループは事業戦略の見直しの一環として、個々の事業が活動する市場の魅力度と、株主資本コストを上回る持続可能な株主資本利益率の実現力に基づいて各事業の徹底的なボトムアップ分析を実施し、2013年2月12日に一部の既存事業から撤退することを発表しました。
- 下記の表は撤退対象とされた事業部門にかかる財務データを抽出したものです。

	CRD IV ベースのリスク調整後資産 ¹			貸借対照表			2013年9月30日に終了する9カ月間		
	2013年 9月30日 現在 (億ポンド)	2013年 6月30日 現在 (億ポンド)	2012年 12月31日 現在 (億ポンド)	2013年 9月30日 現在 (億ポンド)	2013年 6月30日 現在 (億ポンド)	2012年 12月31日 現在 (億ポンド)	収益/ (費用) (百万ポンド)	減損(費用)/ 戻入 (百万ポンド)	営業(費用)/ 収益純額利益 (百万ポンド)
	コーポレート・バンキング								
欧州の旧来からの不良資産	35	41	50	29	34	39	52	(249)	(197)
欧州 RBB									
旧来からの不良資産	96	95	97	220	230	229	72	(154)	(82)
インベストメント・バンク									
米国住宅モーゲージ	11	7	53	9	11	22	428	-	428
商業モーゲージおよび不動産	19	30	31	27	39	40	118	-	118
レバレッジド・ローンおよびその他の貸付金	65	84	101	70	96	115	(83)	6	(77)
CLO およびその他保証付資産	49	65	59	122	141	163	(377)	-	(377)
ストラクチャード・クレジット等	56	53	94	71	81	86	(76)	1	(75)
モラライン・デリバティブ	7	18	31	3	3	6	62	-	62
コーポレート・デリバティブ	32	36	83	24	25	36	-	-	-
ポートフォリオ資産	239	293	452	326	396	468	72	7	79
CRD IV 移行以降前の金利デリバティブ・ポートフォリオ	160	255	339						
インベストメント・バンク合計	399	548	791						
合計	530	684	938						

2013年9月30日現在と2012年12月31日現在の比較

- 撤退対象事業の CRD IV ベースのリスク調整後資産の見積額はインベストメント・バンク部門の 392 億ポンドの削減を含め 408 億ポンド減少し、530 億ポンドとなりました。これは米国住宅モーゲージ、レバレッジド・ローンおよびその他貸付金、ストラクチャード・クレジットのポートフォリオ、ならびにデリバティブ・ポートフォリオにおける合理化策に関連して、インベストメント・バンクのポートフォリオ資産が 213 億ポンド減少して 239 億ポンドとなったことを反映しています。CRD IV 移行前の金利デリバティブのリスク調整後資産は 179 億ポンド減少し、160 億ポンドとなりました。コーポレート・バンキングおよび欧州 RBB の撤退対象事業ポートフォリオにおけるリスク調整後資産は、継続的な資産削減の結果、減少しました。
- ポートフォリオ資産の貸借対照表は、資産クラス全般にわたる純売却および一部償還により 142 億ポンド減少して 326 億ポンドとなりました。7,200 万ポンドの収益は主に米国住宅モーゲージ・エクスポージャーの売却によるもので、CLO およびその他保証付資産に係る調達費用と早期売却によって一部相殺されました。米国住宅モーゲージの公正価値評価益の減少と商業用不動産貸付の売却を主因に、ポートフォリオ資産からの収益は 7,200 万ポンド(2012年:3億8,900万ポンド)となりました。
- CRD IV 移行以前の金利商品ポートフォリオの貸借対照表に計上された資産は、金利および外国為替の時価評価調整を主因に、1,024 億ポンド減少し、2,514 億ポンドとなりました。エクスポージャーは、同一の取引相手と、またはグループが現金担保を保有していたものについて、資産と負債のネットリングが許容されていたならば、国際財務報告基準(IFRS)に基づいた報告額よりも 2,316 億ポンド(2012年:3,173 億ポンド)少なくなったと考えられます。従って、取引相手とのネットリングおよび現金担保の影響を勘案した場合の正味エクスポージャーは 198 億ポンド(2012年:365 億ポンド)であったと考えられます。
- コーポレート・バンキングの欧州における撤退対象事業の貸借対照表に計上された資産は、スペインとポルトガルでの削減を主因に 10 億ポンド減少して 29 億ポンドとなりました。

2013年9月30日現在と2013年6月30日現在の比較

- 撤退対象事業の CRD IV ベースのリスク調整後資産の見積額は 154 億ポンド減少し、530 億ポンドとなりました。これはレバレッジド・ローンの借り換えと米国の商業用不動産ポートフォリオの売却により、インベストメント・バンクのポートフォリオ資産が 54 億ポンド減少し、239 億ポンドとなったことを反映しています。CRD IV 移行前の金利デリバティブのリスク調整後資産は 95 億ポンド減少し、160 億ポンドとなりました。コーポレート・バンキングのリスク調整後資産は継続的な資産の削減により減少しましたが、欧州 RBB のリスク調整後資産は概ね横ばいでした。
- ポートフォリオ資産の貸借対照表は、レバレッジド・ローンの借り換え、CLO の売却、元本の返済により 70 億ポンド減少し、326 億ポンドとなりました。収益は ABS CDO スーパーシニアおよび商業用不動産ローンの公正価値評価益で一部相殺されましたが、CLO およびその他保証付資産の保有に伴う費用により 1,600 万ポンド減少しました。

¹ 上記表は、撤退対象事業に現在割り当てられている CRD IV ベースの潜在的なリスク調整後資産を示しています。

別紙 II: 業績管理

利ざやおよび残高

利息収入純額の分析	2013 年	2012 年
	9 月 30 日に 終了した 9 カ月間 (百万ポンド)	9 月 30 日に 終了した 9 カ月間 (百万ポンド)
RBB、パークレイカード、コーポレート・バンキング、ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメントの顧客に起因する利息収入:		
— 顧客資産	5,360	4,974
— 顧客負債	2,406	2,352
合計	7,766	7,326
RBB、パークレイカード、コーポレート・バンキング、ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメントの顧客以外に起因する利息収入:		
— 商品に係る構造的ヘッジ ¹	644	731
— 株主資本に係る構造的ヘッジ ²	232	234
— その他	(90)	(49)
RBB、パークレイカード、コーポレート・バンキング、ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメントの利息収入純額合計	8,552	8,242
インベストメント・バンク	176	361
本社およびその他事業	(235)	200
グループの利息収入純額	8,493	8,803

- インベストメント・バンク、本社およびその他事業の寄与を含めた当グループの利息収入純額は 4%減少し、84 億 9,300 万ポンド(2012 年:88 億 300 万ポンド)となりました。これは、RBB、パークレイカード、コーポレート・バンキング、ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント各部門に係る 8,900 万ポンドを含む、構造的ヘッジによる寄与が 1 億 4,800 万ポンド減少し、11 億 5,000 万ポンドとなったこと、インベストメント・バンク部門の利息純収益が減少したこと、財務活動に関連した残りの純費用によるものです。
- RBB、パークレイカード、コーポレート・バンキングおよびウェルス・アンド・インベストメント・マネジメントの利息収入純額は 4%増加し、85 億 5,200 万ポンド(2012 年:82 億 4,200 万ポンド)となりました。これはパークレイカード、英国 RBB およびコーポレート・バンキングの伸びに起因するもので、アフリカ RBB における外国為替の変動、欧州 RBB における一部事業からの撤退、当グループの商品および株主資本に係る構造的ヘッジの寄与の低下によって一部相殺されました。

1 商品に係る構造的ヘッジは商品残高(無利子当座口座や管理金利預金など)に対する短期利ざやのボラティリティをより安定的な中期金利に変換し、目標とする満期の構成を実現するために月次ベースで構築されています。

2 株主資本に係る構造的ヘッジは当グループの株主資本に対して各事業部門が創出する純利益のボラティリティを管理するために導入され、その影響は経済的資本の使用度に応じて各事業部門に配分されています。

別紙 II: 業績管理

純利ざやの分析

	英国 RBB	欧州 RBB	アフリカ RBB	パークレイ カード	コーポ レート・ バンキング	ウェルス・ アンド・イン ベストメント・ マネジメント	RBB、 パークレイカード コーポレート、 ウェルス 合計
2013年9月30日に終了した9カ月間	%	%	%	%	%	%	%
顧客資産利ざや	1.20	0.43	3.08	9.45	1.34	0.83	2.20
顧客負債利ざや	0.88	0.41	2.76	(0.29)	1.00	0.97	1.01
顧客に起因する利ざや	1.05	0.43	2.95	8.59	1.14	0.93	1.61
顧客以外に起因する利ざや	0.23	0.36	0.19	(0.23)	0.10	0.11	0.16
純利ざや	1.28	0.79	3.14	8.36	1.24	1.04	1.77
平均顧客資産(百万ポンド)	133,690	39,894	28,162	36,153	66,251	22,259	326,409
平均顧客負債(百万ポンド)	126,723	14,029	18,455	3,512	96,918	59,740	319,377
2012年9月30日に終了した9カ月間							
顧客資産利ざや	1.09	0.46	3.13	9.52	1.23	0.64	2.10
顧客負債利ざや	0.96	0.44	2.77	(0.91)	1.10	1.12	1.12
顧客に起因する利ざや	1.03	0.46	2.99	9.21	1.16	0.98	1.64
顧客以外に起因する利ざや	0.34	0.32	0.22	(0.59)	0.10	0.26	0.21
純利ざや	1.37	0.78	3.21	8.62	1.26	1.24	1.85
平均顧客資産(百万ポンド)	123,217	40,433	31,941	33,068	68,893	19,325	316,877
平均顧客負債(百万ポンド)	111,044	15,034	19,740	1,015	83,283	49,182	279,298

- RBB、パークレイカード、コーポレート・バンキングおよびウェルス・アンド・インベストメント・マネジメントの純利ざやは 8 ベーシス・ポイント低下して 177 ベーシス・ポイントとなりました。これは当グループの構造的ヘッジ活動による寄与の低下の影響で顧客以外に起因する利ざやが 5 ベーシス・ポイント低下し、16 ベーシス・ポイントとなったことが主因です。顧客に起因する利ざやは 161 ベーシス・ポイント(2012年: 164 ベーシス・ポイント)で安定的に推移しました。

別紙 II: 業績管理

純利ざやの分析－四半期

	英国 RBB	欧州 RBB	アフリカ RBB	パークレイ カード	コーポ レート・ バンキング	ウェルス・ アンド・イン ベストメント・ マネジメント	RBB、 パークレイカード コーポレート、 ウェルス 合計
	%	%	%	%	%	%	%
2013年9月30日に終了した四半期							
顧客資産利ざや	1.26	0.37	3.07	9.56	1.41	0.87	2.25
顧客負債利ざや	0.89	0.42	2.85	(0.24)	0.94	0.99	0.99
顧客に起因する利ざや	1.08	0.39	2.98	8.57	1.13	0.96	1.62
顧客以外に起因する利ざや	0.23	0.36	0.25	(0.18)	0.12	0.04	0.16
純利ざや	1.31	0.75	3.23	8.39	1.25	1.00	1.78
平均顧客資産(百万ポンド)	135,483	39,432	26,658	36,380	66,251	22,259	326,463
平均顧客負債(百万ポンド)	131,465	13,842	17,892	4,084	96,918	59,740	323,941
2013年6月30日に終了した四半期							
顧客資産利ざや	1.25	0.47	3.19	9.34	1.34	0.75	2.19
顧客負債利ざや	0.80	0.40	2.71	(0.30)	1.10	0.97	1.00
顧客に起因する利ざや	1.03	0.45	3.00	8.46	1.20	0.91	1.60
顧客以外に起因する利ざや	0.23	0.36	0.15	(0.22)	0.07	0.15	0.15
純利ざや	1.26	0.81	3.15	8.24	1.27	1.06	1.75
平均顧客資産(百万ポンド)	134,986	39,767	27,925	36,069	66,869	22,351	327,967
平均顧客負債(百万ポンド)	129,843	13,943	18,405	3,629	95,178	60,670	321,668
2012年9月30日に終了した四半期							
顧客資産利ざや	1.12	0.44	3.09	9.16	1.27	0.61	2.08
顧客負債利ざや	0.96	0.36	2.82	(0.68)	1.02	1.13	1.10
顧客に起因する利ざや	1.04	0.42	2.98	8.68	1.13	0.99	1.61
顧客以外に起因する利ざや	0.34	0.31	0.20	(0.42)	0.07	0.22	0.20
純利ざや	1.38	0.73	3.18	8.26	1.20	1.21	1.81
平均顧客資産(百万ポンド)	123,217	40,489	30,939	33,536	69,362	19,755	317,298
平均顧客負債(百万ポンド)	111,044	15,034	19,447	1,717	86,478	51,016	284,736

別紙 III: 貸借対照表および資本

要約連結貸借対照表

	2013年 9月30日現在 ¹	2013年 6月30日現在	2012年 12月31日現在 ²
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
資産			
現金および中央銀行預け金および他行からの取立中の項目	64,276	75,298	87,664
トレーディング・ポートフォリオ資産	145,835	151,981	146,352
公正価値で測定すると指定された金融資産	40,538	46,847	46,629
デリバティブ	356,033	403,072	469,156
売却可能投資	86,996	91,707	75,109
銀行に対する貸付金	42,586	46,451	40,462
顧客に対する貸付金	442,940	470,062	423,906
リバース・レポ取引およびその他類似の担保付貸付	202,513	222,881	176,522
その他資産	23,118	24,434	22,535
資産合計	1,404,835	1,532,733	1,488,335
負債			
銀行預り金及び他銀行への未決済項目	70,936	79,872	78,599
顧客預り金	442,404	460,264	385,411
レポ取引およびその他類似の担保付借入	224,588	259,539	217,178
トレーディング・ポートフォリオ負債	55,409	59,360	44,794
公正価値で測定すると指定された金融負債	67,351	71,274	78,561
デリバティブ	351,194	396,125	462,721
発行債券	92,072	102,946	119,525
劣後負債	22,210	22,641	24,018
その他負債	20,457	20,575	17,542
負債合計	1,346,621	1,472,596	1,428,349
株主資本			
払込済株式資本および株式払込剰余金	14,015	13,988	12,477
その他の剰余金	1,866	3,233	3,674
利益剰余金	33,555	33,862	34,464
非支配持分を除く株主資本	49,436	51,083	50,615
非支配持分	8,778	9,054	9,371
株主資本合計	58,214	60,137	59,986
負債および株主資本合計	1,404,835	1,532,733	1,488,335

1 貸借対照表上の残高は2013年9月30日現在のものであり、2013年9月30日以降に新株予約権の一部として発行された新規普通株式およびそれに関連して受け取った現金の影響を含んでいません。新規普通株式は全額払込みされ、ロンドン証券取引所の上場有価証券が取引されているメイン市場で2013年10月4日より取引が開始されています。

2 比較数値は国際財務報告基準(IFRS)第10号「連結財務諸表および国際会計基準(IAS)第19号「従業員給付」(2011年改訂)の適用を反映して修正再表示されています。

別紙 III: 貸借対照表および資本

主要自己資本比率	2013年	2013年	2012年
	9月30日現在	6月30日現在	12月31日現在
コア Tier1 比率	11.3%	11.1%	10.8%
Tier1 比率	13.8%	13.5%	13.2%
総自己資本比率	17.8%	17.4%	17.0%
資本要素	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
貸借対照表上の株主資本(非支配持分を除く)	49,436	51,083	50,615
当グループ自身の信用度に関連する累積損失 ¹	741	593	804
売却可能債券に係る未実現利益 ¹	(343)	(293)	(417)
売却可能株式に係る未実現利益(Tier2 資本として認識) ¹	(145)	(137)	(110)
キャッシュフロー・ヘッジ再評価差額 ¹	(860)	(1,019)	(2,099)
貸借対照表上の非支配持分	8,778	9,054	9,371
-(控除)その他の Tier1 資本-優先株式	(6,151)	(6,171)	(6,203)
-(控除)非支配持分 Tier2 資本	(486)	(486)	(547)
非支配持分に対するその他規制上の調整	(160)	(116)	(171)
その他規制上の調整および控除:			
確定給付型年金の調整 ¹	584	12	49
のれんおよび無形資産 ¹	(7,556)	(7,583)	(7,622)
予想減損損失の超過分の 50% ¹	(787)	(812)	(648)
証券化におけるポジションの 50%	(728)	(759)	(997)
その他規制上の調整	(347)	(423)	(303)
コア Tier1 資本	41,976	42,943	41,722
その他 Tier1 資本:			
優先株式	6,151	6,171	6,203
Tier1 債券 ²	512	538	509
資本準備商品	2,878	2,902	2,866
規制上の調整および控除:			
重要な持分の 50%	(474)	(475)	(241)
予想減損損失の超過分に係る税金の 50%	18	27	176
Tier1 資本総額	51,061	52,106	51,235
Tier2 資本:			
無期限劣後債	1,544	1,558	1,625
期限付劣後債	13,996	14,500	14,066
非支配 Tier2 資本	486	486	547
固定資産再評価差額 ¹	15	19	39
売却可能株式に係る未実現利益 ¹	146	139	110
一括評価減損引当金	1,970	2,024	2,002
Tier2 に対する減額:			
重要な持分の 50%	(474)	(475)	(241)
予想減損損失の超過分に係る 50%(税引前)	(805)	(839)	(824)
証券化におけるポジションの 50%	(728)	(759)	(997)
自己資本総額に対する規制上の調整および控除:			
重要な持分又は適格持分ではない投資	(958)	(1,084)	(1,139)
資本総額合計に対するその他の控除	(306)	(326)	(550)
規制上の自己資本総額	65,947	67,349	65,873

¹ これらの項目の資本への影響は税引後のものです。

² Tier1 債券および資本準備商品は、連結貸借対照表においては、劣後負債に含まれています。

別紙 III: 貸借対照表および資本

コア Tier1 資本の変動	2013 年 9 月 30 日に 終了した 3 カ月間 (百万ポンド)	2013 年 6 月 30 日に 終了した 6 カ月間 (百万ポンド)
コア Tier1 資本の期首残高	42,943	41,722
当期純利益	727	1,083
当グループ自身の信用度に係る調整 ¹	148	(211)
配当金支払額	(476)	(893)
利益から生じた留保資本	399	(21)
剰余金の変動 – 普通株式および制度の影響	175	799
為替換算再評価差額の変動	(1,469)	511
年金準備金の変動	(763)	(37)
その他の剰余金の変動	(40)	12
その他適格剰余金の変動	(2,097)	1,285
規制上の調整およびその他控除項目の増減:		
確定給付型年金の調整 ¹	572	(37)
のれんおよび無形資産の残高 ¹	27	39
予想減損損失の超過分の 50% ¹	25	(164)
証券化におけるポジションの 50%	31	238
その他規制上の調整	76	(119)
コア Tier1 資本の期末残高	41,976	42,943

- コア Tier1 比率は、主にリスク調整後資産が 3,710 億ポンド(2013 年 6 月:3,870 億ポンド)に減少したことから、11.3% (2013 年 6 月:11.1%)に上昇しました。コア Tier1 資本は 420 億ポンド(2013 年 6 月:429 億ポンド)に減少しました。

– パークレイズは、配当金支払額の影響を吸収した上で、当グループ自身の信用度に関連する損益を除いた利益からコア Tier1 資本を 4 億ポンド生み出しました。この増加は、主にユーロ、米ドル、南アフリカランドに対する英ポンドの上昇に伴う外国為替の影響による 15 億ポンドの資本(非支配持分を含む)の減少を上回るものです。

¹ これらの項目の資本への影響は税引後の金額です。

別紙 III: 貸借対照表および資本

リスクタイプおよび事業部門別リスク調整後資産

2013年9月30日現在	信用リスク			カウンターパーティー 信用リスク		市場リスク			オペレー ショナル リスク	リスク調整 後総資産 合計
	標準的 手法 (百万ポンド)	基礎的 内部格 付手法 (百万ポンド)	先進的 内部格 付手法 (百万ポンド)	内部 モデル 方式 (百万ポンド)	内部 モデル 方式 非適用 (百万ポンド)	標準的 方式 (百万ポンド)	追加調整／			
							VaR 内部 モデル 方式 (百万ポンド)	VaR 内部 モデル 方式 非適用分 (百万ポンド)		
英国 RBB	2,890	-	33,639	-	-	-	-	-	6,680	43,209
欧州 RBB	4,598	-	10,107	-	3	-	-	-	2,128	16,836
アフリカ RBB	6,081	5,092	9,007	-	3	-	-	-	3,965	24,148
パークレイカード	17,535	-	14,610	-	-	-	-	-	6,594	38,739
インベストメント・バンク	8,187	3,320	42,407	22,280	6,167	23,195	16,659	10,163	24,807	157,185
コーポレート・バンキング	23,732	2,850	36,553	689	3	-	-	-	6,717	70,544
ウェルス・アンド・インベスト メント・マネジメント	11,627	259	1,531	-	317	-	-	-	3,261	16,995
本社およびその他事業	253	-	3,012	-	-	-	-	-	159	3,424
リスク調整後資産合計	74,903	11,521	150,866	22,969	6,493	23,195	16,659	10,163	54,311	371,080

2013年6月30日現在

英国 RBB	3,057	-	33,872	-	-	-	-	-	6,680	43,609
欧州 RBB	4,944	-	9,656	-	5	-	-	-	2,128	16,733
アフリカ RBB	6,196	5,538	9,790	-	3	-	-	-	3,965	25,492
パークレイカード	17,761	-	14,446	-	-	-	-	-	6,594	38,801
インベストメント・バンク	8,862	3,687	48,002	24,871	6,378	22,764	18,935	10,536	24,807	168,842
コーポレート・バンキング	25,990	2,555	37,174	684	-	-	-	-	6,717	73,120
ウェルス・アンド・インベスト メント・マネジメント	11,668	228	1,440	-	382	-	-	-	3,261	16,979
本社およびその他事業	117	411	2,965	-	-	-	-	-	161	3,654
リスク調整後資産合計	78,595	12,419	157,345	25,555	6,768	22,764	18,935	10,536	54,313	387,230

リスク調整後資産の変動

	2013年 9月30日に 終了した3カ月間	2013年 6月30日に 終了した6カ月間
リスク調整後資産の期初残高	387.2	387.4
事業活動	(8.1)	(11.0)
外国為替	(8.1)	7.1
リスク変数の変更	0.5	(0.5)
方法とモデルの変更	(0.4)	4.2
リスク調整後資産の期末残高	371.1	387.2

- 下記要因により2013年9月に終了した四半期においてリスク調整後資産は161億ポンド減少しました。
 - 主に撤退対象事業に係るリスク調整後資産とソブリン・エクスポージャーの減少により、事業活動リスクの削減を通して81億ポンドのリスク調整後資産が減少しました。
 - 米ドル、南アフリカランド、ユーロが英ポンドに対し下落したことに伴う外国為替要因により、リスク調整後資産は81億ポンド減少しました。
 - 市場状況に伴いリスク・プロファイルが変化したことから、リスク変数を変更した結果、リスク調整後資産は5億ポンド増加しました。
 - トレーディング・エクスポージャーの計算方法の変更を主因とした、手法とモデルの変更によって、リスク調整後資産が4億ポンド増加しました。

別紙 III: 貸借対照表および資本

貸借対照表上のレバレッジ

	2013年9月30日現在 (百万ポンド)	2013年6月30日現在 (百万ポンド)
資産合計 ¹	1,404,835	1,532,733
顧客ごとのネットティング	(287,624)	(324,303)
デリバティブの担保	(36,730)	(41,044)
決済残高および現金担保	(88,179)	(109,196)
のれんおよび無形資産	(7,790)	(7,849)
投資契約に基づき保有されている顧客の資産 ²	(1,777)	(1,838)
調整後有形資産合計	982,735	1,048,503
適格 Tier1 資本総額	51,061	52,106
調整後グロス・レバレッジ	19	20
調整後グロス・レバレッジ(余剰流動性を除く)	17	17
株主資本に対する資産合計の比率	24	25
株主資本に対する資産合計の比率(余剰流動性を除く)	22	23

- 適格 Tier1 資本が 2%減少して 510 億ポンドとなったこと、また、調整後有形資産合計が 6%減少して 9,830 億ポンドとなった結果、2013 年 9 月 30 日現在の調整後グロス・レバレッジは 19 倍(2013 年 6 月 30 日:20 倍)となりました。
- 担保付リバース・レポ貸付の変動を主因に、2013 年第 3 四半期の各月末の調整後グロス・レバレッジは 19 倍から 20 倍(2013 年 1 月から 9 月:19 倍から 21 倍、2012 年通年:19 倍から 23 倍)の間で推移しました。
- 調整後有形資産合計は、現金および中央銀行預け金 620 億ポンド(2013 年 6 月 30 日:730 億ポンド)を含みます。この残高を除いた場合の貸借対照表のレバレッジは 18 倍(2013 年 6 月 30 日:19 倍)となります。また、余剰流動性を除くと、レバレッジは 17 倍(2013 年 6 月 30 日:17 倍)となります。
- 株主資本合計に対する資産合計の比率は 24 倍(2013 年 6 月 30 日:25 倍)で、2013 年第 3 四半期の各月末の同比率は、デリバティブ資産および担保付リバース・レポ貸付の変動を主因に 24 倍から 25 倍(2013 年 1 月から 9 月:24 倍から 27 倍、2012 年通年:25 倍から 28 倍)の間で推移しました。

¹ 余剰流動性 1,300 億ポンドを含みます(2013 年 6 月 30 日:1,380 億ポンド)。

² 公正価値で測定すると指定された金融資産および関連する現金残高から構成されています。

別紙 IV: 信用リスク

顧客および銀行向けリテールおよびホールセール貸付金

2013年9月30日現在	貸付金総額 (百万ポンド)	減損引当金 (百万ポンド)	貸付金 (減損控除後) (百万ポンド)	クレジット リスク・ ローン(CRL) (百万ポンド)	貸付金総額に 対する CRLの比率 (%)	貸付金に 関する 減損費用 ¹ (百万ポンド)	貸倒率 ベース・ ポイント
リテール合計	238,127	4,577	233,550	8,089	3.4	1,645	92
ホールセール - 顧客	213,009	3,068	209,941	5,959	2.8	717	45
ホールセール - 銀行	42,045	10	42,035	19	-	(12)	(4)
ホールセール合計	255,054	3,078	251,976	5,978	2.3	705	37
貸付金 (償却原価により評価)	493,181	7,655	485,526	14,067	2.9	2,350	64
トレード・ローン 貸付金 (公正価値で評価されたもの)	1,928	該当なし	1,928				
貸付金(公正価値で保有)	19,818	該当なし	19,818				
貸付金合計	21,746	該当なし	21,746				
貸付金合計	514,927	7,655	507,272				
2013年6月30日現在							
リテール合計	240,079	4,699	235,380	8,439	3.5	1,112	93
ホールセール - 顧客	238,457	3,170	235,287	6,192	2.6	534	45
ホールセール - 銀行	45,881	35	45,846	54	0.1	(12)	(5)
ホールセール合計	284,338	3,205	281,133	6,246	2.2	522	37
貸付金 (償却原価により評価)	524,417	7,904	516,513	14,685	2.8	1,634	63
トレード・ローン 貸付金 (公正価値で評価されたもの)	2,340	該当なし	2,340				
貸付金(公正価値で保有)	20,144	該当なし	20,144				
貸付金合計	22,484	該当なし	22,484				
貸付金合計	546,901	7,904	538,997				

¹ 売却可能投資に係る減損引当金およびレボ取引に係る保証金を除きます。

別紙 IV: 信用リスク

顧客および銀行向けリテール貸付金(償却原価により評価)

2013年9月30日現在	貸付金総額 (百万ポンド)	減損引当金 (百万ポンド)	貸付金 (減損控除後) (百万ポンド)	クレジット・ リスク・ ローン(CRL) (百万ポンド)	貸付金総額に 対する CRLの比率 (%)	貸付金に 関する 減損費用 (百万ポンド)	貸倒率 ベース・ ポイント
英国 RBB	137,100	1,323	135,777	2,737	2.0	259	25
欧州 RBB	39,174	661	38,513	1,800	4.6	209	71
アフリカ RBB	21,939	586	21,353	1,234	5.6	226	138
パークレイカード	36,588	1,951	34,637	2,232	6.1	950	347
コーポレート・バンキング ¹	549	41	508	48	8.7	(6)	(146)
ウェルス・アンド・ インベストメント・マネジメント	2,777	15	2,762	38	1.4	7	34
合計	238,127	4,577	233,550	8,089	3.4	1,645	92
2013年6月30日現在							
英国 RBB	137,135	1,337	135,798	2,770	2.0	178	26
欧州 RBB	40,661	638	40,023	1,807	4.4	142	70
アフリカ RBB	22,297	656	21,641	1,469	6.6	176	159
パークレイカード	36,666	2,004	34,662	2,296	6.3	616	339
コーポレート・バンキング ¹	607	48	559	54	8.9	(5)	(166)
ウェルス・アンド・ インベストメント・マネジメント	2,713	16	2,697	43	1.6	5	37
合計	240,079	4,699	235,380	8,439	3.5	1,112	93

¹ 主にインドとアラブ首長国連邦におけるリテール貸付金で構成されています。

別紙 IV: 信用リスク

顧客および銀行向けホールセール貸付金(償却原価により評価)

2013年9月30日現在	貸付金総額 (百万ポンド)	減損引当金 (百万ポンド)	貸付金 (減損控除後) (百万ポンド)	クレジット・ リスク・ ローン (CRL) (百万ポンド)	貸付金総額 に対する CRLの比率 %	貸付金に係る 減損費用 (百万ポンド)	貸倒率 ベース・ ポイント
インベストメント・バンク ¹	161,033	595	160,438	843	0.5	202	17
コーポレート・バンキング	66,957	2,125	64,832	3,862	5.8	379	76
- 英国	51,594	398	51,196	1,260	2.4	126	33
- 欧州	6,964	1,529	5,435	2,386	34.3	246	472
- その他地域	8,399	198	8,201	216	2.6	7	11
ウェルス・アンド・ インベストメント・マネジメント	20,073	189	19,884	683	3.4	81	54
アフリカ RBB	4,982	157	4,825	575	11.5	43	115
本社およびその他事業	2,009	12	1,997	15	0.7	-	-
合計	255,054	3,078	251,976	5,978	2.3	705	37
2013年6月30日現在							
インベストメント・バンク ¹	187,256	640	186,616	835	0.4	179	19
コーポレート・バンキング	68,295	2,180	66,115	3,966	5.8	265	78
- 英国	52,007	450	51,557	1,377	2.6	83	32
- 欧州	7,636	1,543	6,093	2,416	31.6	180	475
- その他地域	8,652	187	8,465	173	2.0	2	5
ウェルス・アンド・ インベストメント・マネジメント	20,386	167	20,219	706	3.5	44	44
アフリカ RBB	6,767	198	6,569	719	10.6	35	104
本社およびその他事業	1,634	20	1,614	20	1.2	(1)	(12)
合計	284,338	3,205	281,133	6,246	2.2	522	37

¹ インベストメント・バンクの貸付金総額には現金担保および決済残高が2013年9月30日現在で1,087億6,900万ポンド、2013年6月30日現在で1,296億6,700万ポンド含まれています。この残高を除くと、貸付金総額に対するクレジット・リスク・ローン(CRL)の比率はそれぞれ0.9%、1.5%でした。

ユーロ圏諸国に対する当グループのエクスポージャー

- 当グループは、ユーロ圏の継続的なボラティリティに起因する信用リスクおよび市場リスクを認識しており、厳しい経済情勢に伴うリスクを軽減するための組織的な措置を講じるとともに、引き続き注意深く状況をモニタリングしています。
- 2013 年第 3 四半期にスペイン、イタリア、ポルトガル、アイルランド、キプロスおよびギリシャに対する当グループの貸借対照表上の正味エクスポージャーは 6%減少して 539 億ポンドとなりました。これはスペイン、イタリア、ポルトガルにおける貸付が減少したことにより、リテールおよび法人顧客に対するエクスポージャーが 6%減少して 457 億ポンドとなったことが主因です。
- 2013 年 9 月 30 日現在、イタリアにおける現地の貸借対照表上の資金調達不足額は 136 億ユーロ (2013 年 6 月 30 日: 136 億ユーロ)、ポルトガルにおける同不足額は 39 億ユーロ (2013 年 6 月 30 日: 44 億ユーロ) でした。スペインにおける資金調達の純額ベースの余剰額は 23 億ユーロ (2013 年 6 月 30 日: 18 億ユーロ) でした。バークレイズは引き続きユーロ圏のボラティリティが現地の貸借対照表上の資金調達に及ぼす潜在的な影響をモニターし、リスクを管理するための適切な措置を検討していきます。

別紙 IV: 信用リスク

グループ・エクスポージャーの概要

- 下表は、リスクが高いために経営的視点から特に重点的に管理する対象として社内でモニターしているユーロ圏諸国に対するパークレイズのエクスポージャーを示しています。作成基準は 2012 年度の年次報告書で説明した基準に基づいています。
- 正味エクスポージャーは当グループがさらされている信用リスクの最も適切な測定基準です。総エクスポージャーもオフ・バランスシートの偶発債務および契約債務とともに下表に示しています。

2013 年 9 月 30 日現在	ソブリン (百万ポンド)	金融機関 (百万ポンド)	事業会社 (百万ポンド)	住宅 モーゲージ (百万ポンド)	その他 リテール 貸付 (百万ポンド)	貸借対照表上 の正味エク スポージャー (百万ポンド)	貸借対照表上 の総エク スポージャー (百万ポンド)	偶発債務 および 契約債務 (百万ポンド)
スペイン	316	859	3,474	13,030	2,415	20,094	28,026	3,419
イタリア	2,495	434	1,472	15,550	1,963	21,914	29,136	3,166
ポルトガル	357	37	1,087	3,481	1,649	6,611	6,959	2,486
アイルランド	49	3,648	1,165	105	99	5,066	9,012	2,272
キプロス	-	-	120	19	32	171	248	43
ギリシャ	2	3	35	6	13	59	936	3

2013 年 6 月 30 日現在

スペイン	292	1,028	4,976	13,546	2,436	22,278	30,345	3,245
イタリア	1,967	390	1,489	16,034	2,072	21,952	30,260	3,464
ポルトガル	388	30	1,357	3,595	1,720	7,090	7,680	2,536
アイルランド	26	4,194	1,144	108	114	5,586	9,752	1,363
キプロス	-	-	133	45	29	207	301	48
ギリシャ	2	7	40	6	14	69	1,185	3

- パークレイズは以下に示すとおり、その他のユーロ圏諸国に対してもエクスポージャーを有しています。個々の国に対する貸借対照表上の正味エクスポージャー合計が 10 億ポンド未満のものについては、その他にまとめて示しています。

2013 年 9 月 30 日現在	ソブリン (百万ポンド)	金融機関 (百万ポンド)	事業会社 (百万ポンド)	住宅 モーゲージ (百万ポンド)	その他 リテール 貸付 (百万ポンド)	貸借対照表上 の正味エク スポージャー (百万ポンド)	貸借対照表上 の総エク スポージャー (百万ポンド)	偶発債務 および 契約債務 (百万ポンド)
フランス	7,200	6,235	5,124	2,415	214	21,188	57,165	9,001
ドイツ	1,797	4,201	7,329	25	2,063	15,415	54,743	7,284
オランダ	2,259	4,346	1,758	15	69	8,447	24,116	2,404
ベルギー	2,279	25	201	13	4	2,522	8,649	910
ルクセンブルグ	11	636	658	204	67	1,576	4,649	855
オーストリア	1,239	259	149	1	4	1,652	3,257	203
フィンランド	904	216	64	3	-	1,187	6,051	453
その他	132	53	23	6	58	272	504	16

2013 年 6 月 30 日現在

フランス	3,448	5,422	5,328	2,584	182	16,964	56,365	8,647
ドイツ	1,985	4,760	6,621	26	2,013	15,405	58,055	7,160
オランダ	3,336	4,480	1,958	16	70	9,860	26,092	2,286
ベルギー	2,866	17	390	13	4	3,290	9,480	778
ルクセンブルグ	39	823	706	208	22	1,798	5,027	931
オーストリア	1,092	340	151	1	6	1,590	3,528	210
フィンランド	1,079	120	38	3	-	1,240	6,454	463
その他	130	4	11	5	64	214	466	-

その他の法令・規制関連事項

一部契約に関する調査

金融行為監督機構(FCA)はパークレイズ・バンクがカタール・ホールディング LLC(カタール・ホールディング)と 2008 年 6 月および 10 月にそれぞれ締結したアドバイザー・サービス契約 2 件を含む特定の契約ならびにこれらの契約がパークレイズが 2008 年 6 月および 11 月に実施した資本調達に関連しているかどうかを調査しました。

FCA は 2013 年 9 月 13 日付でパークレイズおよびパークレイズ・バンクに対して警告通知書を発行しました。

2008 年 6 月に締結されたアドバイザー・サービス契約の存在は開示されていましたが、2008 年 10 月のアドバイザー・サービス契約締結および両契約に基づき支払われる 5 年間で総額 3 億 2,200 万ポンドに上る手数料は 2008 年 6 月および 11 月の資本調達に係る発表または公文書において開示されていませんでした。警告通知書は、パークレイズおよびパークレイズ・バンクが当時、少なくとも両契約から派生する不特定、不確定の価値があると考えていたと判断していますが、両契約の主な目的はアドバイザー・サービスを得るのではなく、資本調達へのカタールの参加に対する非開示の追加支払いを行うことであると述べています。警告通知書は、パークレイズおよびパークレイズ・バンクが一部の情報公開に係る上場規則ルールに違反しており、パークレイズはさらに上場原則 3(会社株式の保有者および潜在的保有者に対して誠実に行動する義務)に違反していたと結論づけています。この点に関して、FCA はパークレイズおよびパークレイズ・バンクが無責任に行動したと判断しています。警告通知書によるパークレイズ・グループに対する制裁金は 5,000 万ポンドです。パークレイズおよびパークレイズ・バンクは引き続き上記調査結果について争ってまいります。

重大不正監視局(SFO)が上記契約を調査しており、SFO の調査は初期段階にあり、パークレイズ・グループは更なる情報提供要請を受け、引き続き対応してまいります。

米司法省(DOI)および証券取引委員会(SEC)はパークレイズのビジネスの獲得または維持を支援する第三者とのパークレイズ・グループの関係が米国海外腐敗行為防止法を遵守しているものかどうかを調査しています。また、DOI および SEC はアドバイザー・サービス契約を含む上記契約も調査しております。米連邦準備理事会(FRB)はこれらの事項について逐次報告するよう要請しています。

上記事項に係る最終結論が不利なものであった場合のパークレイズ・グループへの影響の全体像を推定することは不可能です。

ロンドン銀行間取引金利、ISDAfix、その他ベンチマーク指標、外国為替に関する調査

2012 年 6 月 27 日、パークレイズ・バンクは英国金融庁(FCA の前身)、米国商品先物取引委員会(CFTC)、米国司法省詐欺対策課(DOI-FS)および反トラスト局(DOI-AD)とパークレイズ・バンクおよび他の金融機関がロンドン銀行間取引金利(LIBOR)や欧州銀行間取引金利(EURIBOR)など基準金利を設定、あるいは取りまとめる機関に対する情報提供に関する調査に関し、和解に合意したと発表しました。これらの合意を受け、SFO は 2012 年 7 月 6 日に正式に LIBOR に関連する調査に着手することを発表しました。本調査に関し、パークレイズ・バンクは情報提供要請を受、引き続き対応してまいります。

欧州委員会は特に欧州銀行間取引金利(EURIBOR)の不正操作について調査を進めています。パークレイズは欧州委員会の EURIBOR の調査対象となっており、引き続き調査に協力しています。欧州委員会は 2013 年末に向け、本調査にかかる最終決定を採択する準備があることを公にしています。

CFTC および FCA は別途、様々な指標の中でも ISDAfix に関する過去の慣行について調査を実施しています。パークレイズ・バンクは CFTC から召喚状および情報提供要請を受け、引き続き対応しております。

2013 年 9 月 16 日にパークレイズが発行した新株予約権無償割当の目論見書における、リスクに関連する要因も含めた法律上、あるいは規制上の手続きに関する情報開示からの重要な進展を反映する指針情報として、様々な規制ないし監督機関がベンチマーク通貨の不正操作の試みもしくはトレーディング・ポジションに有利となるようなその他の行為に従事した可能性を含む外国為替トレーディングに関し、調査しているということが上げられます。調査は、様々な国の複数の市場参加者に対して実施されているようです。パークレイズ・バンクはいくつかの当局からの特定の調査に関して照会を受け、2013 年 8 月までの数年間にわたる外国為替トレーディングを見直しており、関連当局の調査に協力しています。これらの調査が及ぼす影響について現時点で予測することは出来ません。

連邦エネルギー規制委員会による調査

米国連邦エネルギー規制委員会(FERC)施行局は 2006 年後半から 2008 年までの期間にパークレイズが実施した米国西部における電力取引について調査を行っています。2013 年 10 月 9 日、FERC はパークレイズおよびその元とレーダー 4 名をカリフォルニア州連邦裁判所に提訴しました。訴状はかつて 2012 年 10 月に FERC が発した理由開示書および 2013 年 7 月に発した民事罰金賦課命令書の内容を繰り返したものでした。2013 年 9 月にパークレイズはニューヨーク州南部地区連邦地検の犯罪局から、FERC と同様の問題を調査している旨の通知を受けました。

別紙 VI: その他情報

その他情報

	2013年 9月30日に 終了した 9ヵ月間	2013年 6月30日に 終了した 6ヵ月間	2012年 9月30日に 終了した 9ヵ月間	2013年 6月30日 からの変動率 ²	2012年 9月30日 からの変動率 ²
為替相場¹					
米ドル/ポンド 期末レート	1.62	1.52	1.61	7%	1%
米ドル/ポンド 期中平均レート	1.54	1.54	1.58	0%	(3%)
米ドル/ポンド 3ヵ月平均レート	1.55	1.54	1.58	1%	(2%)
ユーロ/ポンド 期末レート	1.19	1.17	1.25	2%	(5%)
ユーロ/ポンド 期中平均レート	1.17	1.18	1.23	(1%)	(5%)
ユーロ/ポンド 3ヵ月平均レート	1.17	1.18	1.26	(1%)	(7%)
南アフリカランド/ポンド期末レート	16.21	15.11	13.33	7%	22%
南アフリカランド/ポンド期中平均レート	14.62	14.20	12.69	3%	15%
南アフリカランド/ポンド3ヵ月平均レート	15.48	14.57	13.05	6%	19%

株価情報	2013年 9月30日	2012年 9月30日
バークレイズ・ピーエルシー(ペンス)	265.50	214.85
バークレイズ・アフリカ・グループ・リミテッド (元アブサ・グループ・リミテッド)(南アフリカランド)	147.40	138.50

お問合せ先

インベスター・リレーションズ

チャーリー・ローゼス +44 (0) 20 7116 5752

メディア・リレーションズ

ジャイルズ・クルート +44 (0) 20 7116 6132

バークレイズに関するより詳細な情報はウェブサイトをご覧ください。www.barclays.com

¹ 上記に掲載されている平均レートは期中の日々の直物スポットレートの平均であり、会計上外貨を英ポンドに換算するために用いられています。
² 変動率は該当する通貨を公表為替レートで英ポンドに換算した値の変化を百分率で示したものです。為替レートの変動は期間の経営報告書に報告されている外貨建の残高および取引の金額に影響します。